

令和8年第2回区づくり推進横浜市議員会議（港北区）

日 時：令和8年6月11日（木）11時00分～
場 所：区役所4階1・2号会議室

議 題

- 1 令和8年度
個性ある区づくり推進費の執行状況について

令和8年度 個性ある区づくり推進費 執行状況について



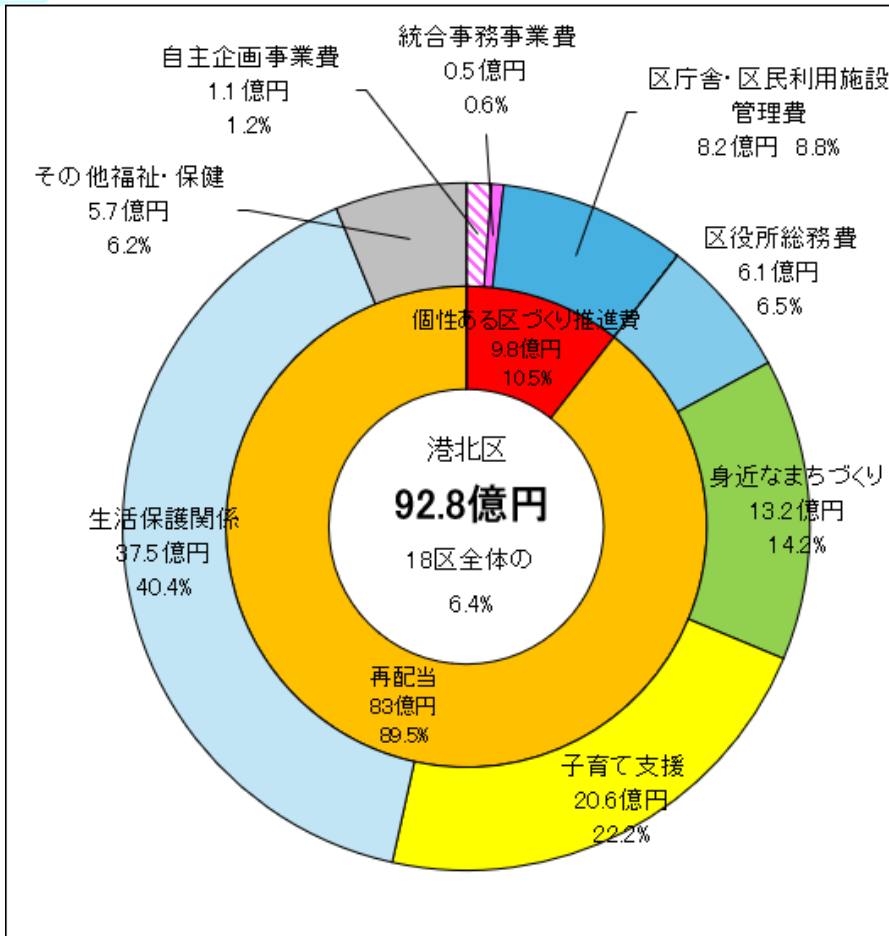
港 北 区

港北区における予算のすがた（令和8年度一般会計予算）

横浜市の令和8年度一般会計の予算規模は2兆993億円で、このうち18区が執行する予算は1,454億円です（人件費を除く）。港北区の令和8年度事務事業の執行内容を説明します。

I

港北区が執行する予算の概要



令和8年度一般会計予算の中で、港北区が執行する予算の規模は**92.8億円**で、18区全体の**6.4%**を占めています。

予算の内訳は、区が予算編成を行う「個性ある区づくり推進費」が**9.8億円**で、港北区が執行する予算の**10.5%**となっています。

また、港北区予算の大部分を占めるのは、局から予算の再配当を受けて区が執行する「再配当予算」で、**83億円**、区予算の**89.5%**となっています。

- 注) 1 各項目で単位未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。
2 各項目の占有率は百万円単位で計算をしています。



大きな比率を占めるものは…

- i 「生活保護関係」が37.5億円で、40.4%を占めています。
- ii 市立保育所の運営費や放課後児童健全育成事業などの「子育て支援」が20.6億円で、22.2%となっています。
- iii 身近な道路・公園等の管理運営などの「身近なまちづくり」が13.2億円で、14.2%となっています。

港北区の一般会計予算は、地域の課題やニーズに対応するための自主企画事業費、区庁舎・区民利用施設の管理運営費、身近なまちづくりや子育て支援・生活保護などの福祉・保健に関する事業費（局からの再配当予算）から成り立っています。

1 総括表

（単位：億円）

分類	港北区				18区全体	
	8年度予算	構成比	7年度予算	構成比	8年度予算	構成比
個性ある区づくり推進費	9.8	10.5%	9.5	10.5%	153.2	10.5%
自主企画事業費	1.1	1.2%	1.1	1.2%	18.3	1.3%
統合事務事業費	0.5	0.6%	0.5	0.6%	8.5	0.6%
区庁舎・区民利用施設管理費等	8.2	8.8%	7.9	8.7%	126.5	8.7%
区再配当予算	83.0	89.5%	81.4	89.5%	1,300.3	89.5%
① 区役所総務費	6.1	6.5%	5.9	6.5%	81.9	5.6%
② 身近なまちづくり	13.2	14.2%	13.9	15.3%	221.5	15.2%
③ 子育て支援	20.6	22.2%	18.9	20.7%	206.4	14.2%
④ 生活保護	37.5	40.4%	37.5	41.2%	709.9	48.8%
⑤ 福祉・保健	5.7	6.2%	5.3	5.8%	80.6	5.5%
合 計	92.8	100%	90.9	100%	1,453.6	100%

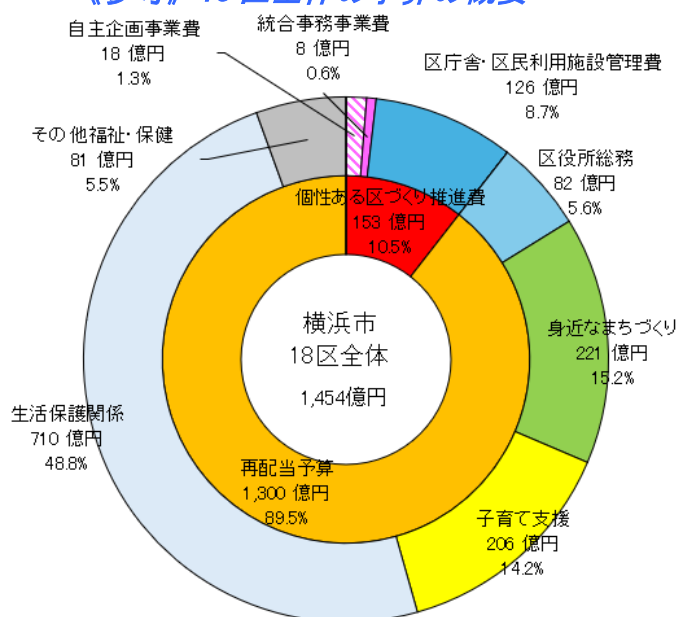
注) 1 現時点では配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等に按分したものと含まれています。
 注) 2 各項目で単位未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

18区全体から見た 港北区の予算

- 1 総括表における区配付予算の中で、
 ③「子育て支援」に係る予算は、港北区では18区全体の14.2%を8ポイント上回る22.2%
 ④「生活保護」は、18区全体の48.8%を8.4ポイント下回る40.4%となっています。



《参考》18区全体の予算の概要



注) 各項目で四捨五入をしているため、合計額と一致しない場合があります。

区に係る予算のすがた（令和8年度特別会計・公営企業会計含む予算）

区役所では、税金を主とした一般会計のほか、国民健康保険料や介護保険料など特定の収入を一般会計と分けて収支を明確にした特別会計と、経営に伴う収入により独立採算制に基づき運営されている公営企業会計の一部予算についても予算執行をしています。

なお、再配当予算については、現時点で未定のものもあり、区への再配当見込み額を18区均等に按分したものも含まれるため、参考値となります。

<港北区が執行する全会計の予算>

（単位：億円）

分類	予算額	説明
一般会計	92.8	
個性ある区づくり推進費	9.8	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
再配当予算	83.0	局からの予算の再配当を受け、区が執行している予算
特別会計	17.8	
国民健康保険事業費会計	3.4	高額療養費や出産育児一時金等の支給、医療費の全額を一旦支払った場合の払戻しなどを行います。
介護保険事業費会計	13.7	高額介護サービス費の支給、在宅介護住宅改修費や福祉用具購入費の償還払のほか、要介護認定等に係る事務などを行います。
後期高齢者医療事業費会計	0.2	後期高齢者医療制度における市町村事務として、保険料の徴収及び、被保険者証の交付の申請受付などを行います。
みどり保全創造事業費会計	0.5	公共施設や民有地の緑化を拡充し、魅力と潤いのあるまちづくりを推進します。
公営企業会計	2.4	
下水道事業費会計	2.4	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
合 計	113.0	

※各項目で四捨五入をしているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの再配当額を算出し、区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。（区への再配当額は一部未定のため、再配当見込み額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています。）

<試 算>

主な特別会計の市予算額を市全体の対象者数に占める港北区の対象者数の割合に応じて按分した試算値

（単位：億円）

	横浜市 予算額 (A)	横浜市全体 対象者数等※ (B)	港北区 対象者数等※ (C)	港北区 按分額 (D=A×C/B)	区が執行する 予算額 (E)	港北区 按分額 7年度
国民健康保険事業費会計 (保険給付費など予算総額)	3,116	553,359 人	46,717 人	263 (8.4%)	3.4	257 (8.4%)
介護保険事業費会計 (保険給付費など予算総額)	3,593	201,584 人	14,899 人	266 (7.4%)	13.7	254 (7.4%)
後期高齢者医療事業費会計 (広域連合負担金など 予算総額)	1,096	545,601 人	40,741 人	82 (7.5%)	0.2	79 (7.5%)

※国民健康保険事業は被保険者数(令和8年3月末時点)

※介護保険事業は要介護認定者数(令和8年3月末時点)

※後期高齢者医療事業は被保険者数(令和8年3月末時点)

2 個性ある区づくり推進費

(1) 自主企画事業費

(単位：千円)

事業名	8年度	7年度	増▲減	担当課	頁
1 安心・安全なまちづくり	29,534	29,489	45		
(1) 災害に強いまちづくり推進事業	18,131	20,052	▲ 1,921	総務課	5
(2) 災害時医療整備事業	424	424	0	福祉保健課	12
(3) 地域における災害時要援護者支援推進事業	1,633	1,345	288	高齢・障害支援課	13
(4) 港北AAA(安全で安心な明日を)地域防犯力向上作戦	1,332	1,082	250	地域振興課	15
(5) 交通安全 無事故でカエル事業	5,653	4,940	713	地域振興課	18
(6) 放置自転車対策事業	1,095	480	615	地域振興課	20
(7) 快適な暮らしの衛生応援事業	1,266	1,166	100	生活衛生課	21
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり	25,147	25,802	▲ 655		
(1) 「ひととプラン港北」推進事業	1,258	1,768	▲ 510	福祉保健課	22
(2) 地域子育てサポート事業	8,678	8,894	▲ 216	こども家庭支援課	23
(3) 食育推進事業	1,729	1,889	▲ 160	福祉保健課	27
(4) 保育所支援・情報提供事業	3,143	2,808	335	こども家庭支援課	29
(5) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	370	370	0	こども家庭支援課	31
(6) 困難な状況にある児童・家庭等への支援事業	3,713	3,484	229	こども家庭支援課	32
(7) 高齢者・障害者支え合い推進事業	3,355	3,238	117	高齢・障害支援課	35
(8) 健康こうほく21事業	2,901	3,351	▲ 450	福祉保健課	39
3 活気にあふれるまちづくり	38,216	38,801	▲ 585		
(1) 育もう「ふるさと港北」事業	9,255	9,555	▲ 300	地域振興課	40
(2) 地域振興活動事業	2,850	3,000	▲ 150	地域振興課	43
(3) 地域のチカラ応援事業	4,391	3,491	900	地域振興課	45
(4) 区民活動支援事業	1,247	1,287	▲ 40	地域振興課	47
(5) 読書活動推進事業	825	1,653	▲ 828	地域振興課	48
(6) 地域スポーツ推進事業	2,750	3,350	▲ 600	地域振興課	51
(7) 芸術文化振興事業	1,800	1,800	0	地域振興課	54
(8) 港北区商店街活性化事業	2,250	2,000	250	地域振興課	56
(9) 港北オープンファクトリー事業	874	677	197	区政推進課	58
(10) まちづくり調整費	5,036	3,077	1,959	区政推進課	59
(11) GREEN×EXPO 2027・脱炭素推進事業	3,600	3,200	400	区政推進課	61
(12) こうほく プラ5.3推進事業	1,394	941	453	地域振興課	64
(13) 港北オープンガーデン事業	1,944	0	1,944	区政推進課	67
港北ガーデンシティ推進事業 ※GREEN×EXPO 2027・脱炭素推進事業、港北オープンガーデン事業へ移管	0	4,770	▲ 4,770	区政推進課	—
4 区民サービス向上に向けた取組	16,475	15,296	1,179		
(1) 区民サービス向上・環境改善促進事業	7,505	6,941	564	総務課	69
(2) 区民利用施設環境改善事業	3,715	3,120	595	地域振興課	70
(3) 戸籍課案内サービス向上事業	3,162	3,092	70	戸籍課	71
(4) 港北区PR情報発信事業	1,473	1,523	▲ 50	区政推進課	73
(5) 「仕事力向上」職員育成事業	620	620	0	総務課	74
自主企画事業費 合計	109,372	109,388	▲ 16		
《参考》統合事業費	24,175	23,990	185		
広報よこはま区版発行事業	14,734	14,665	69	区政推進課	75
広聴相談事業	2,011	2,016	▲ 5	区政推進課	76
青少年活動支援事業 ※学校・家庭・地域連携事業を含む	3,490	3,083	407	地域振興課・ こども家庭支援課	77
緊急時情報伝達システム運用事業 ※災害に強いまちづくり推進事業の頁に掲載	894	884	10	総務課	11
スポーツ推進委員支援事業 ※地域スポーツ推進事業の頁に掲載	2,093	2,500	▲ 407	地域振興課	53
クリーンタウン横浜事業 ※こうほく プラ5.3推進事業の頁に掲載	953	842	111	地域振興課	65

※5ページ以降の個別事業の増減理由について、増減額が10万円未満の場合は増減理由を省略しています。

事業名・所管課	8 年度予算 (A)	7 年度予算 (B)	増▲減 (A-B)
1- (1) 災害に強いまちづくり推進事業	18,131千円	20,052千円	▲1,921千円
総務課	増減理由	トイレスターターキットの配備完了による減 など	

【事業の概要】

令和7年度に策定された横浜市地震防災戦略をふまえながら、災害発生時の被害を最小限に留めるための各種取組を行います。

地域向けの啓発事業を実施し、一人ひとりの自助・共助による備えの重要性を伝え、具体的な行動に結びつけるほか、地域防災拠点の円滑な運営を支援するため、資機材の配備・更新や取扱講習を行います。

また、区災害対策本部の運営体制を強化するため、通信手段や電源の確保、訓練・研修等を行います。

【主な内容】

1 自助・共助の啓発事業 【(8) 10,755千円、(7) 10,075千円】

(1) ローリングストックの啓発リーフレットの作成《新規》

発災時に自宅が倒壊や焼損、浸水の危険がない場合、在宅避難ができるよう、個人での備えを促進するため、気軽に始められる水や食料を中心としたローリングストックの始め方を周知するリーフレットを作成し、大規模商業施設等のイベントでの配布や防災キャラバン等でリーフレットを活用した啓発を実施します。あわせて、外国人向けに英語版のリーフレットを作成します(10月)。

(2) 中学生向け防災啓発資料の作成・配付《新規》

中学生を対象に、災害のリスクや発災時の身の守り方を伝えるとともに、発災時に地域防災拠点や地域を支える担い手となる意識を育むことを目的とした冊子を作成します。冊子は、区内の公立中学校へ配付するほか、中学校での出前授業等で活用し、若年層の防災意識の向上につなげます(9月～10月)。



【小学生向け防災ハンドブック (R7 作成)】

(3) 両親教室での妊産婦・子育て世代向け防災講話の実施《新規》

妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠・出産・子育てについて学ぶことのできる両親教室において、日ごろから必要な備えや発災時の適切な避難行動を伝える講話を実施します(毎月1回、計12回)。また、参加者へ啓発グッズ(使い切り授乳カップ)を配布し、備蓄を促すきっかけとします。

【両親教室における防災講話】

参加者数：4月 28人

5月 23人



(4) 帰宅困難者抑制に向けた広報活動の実施《拡充》

区内主要駅（日吉駅、新横浜駅、菊名駅）において、防災月間（9月）や東日本大震災の日（3月）に合わせて、駅の広告掲示を活用した災害時における一斉帰宅の抑制や職場での備蓄等を勧める広報活動を行います。

また、新横浜駅では、横浜グリーンエキスポの開催に伴う観光客等の増加を見据え、災害時に、帰宅困難者一時滞在施設の開設情報等を駅の滞留者に速やかに発信するためのデジタルサイネージを交通広場に設置し、駅周辺の混乱防止を図ります。なお、平常時は備蓄促進に関する啓発や各課の区政情報の発信に活用します（4月）。

(5) 防災キャラバンの実施

区民の防災意識向上につなげるため、地域のニーズに応じた啓発活動を行い、自治会町内会や区内小学校等の希望する団体に、専門家による講演を行う防災キャラバンを実施します（6～12月、12回程度）。

【防災キャラバンの実施テーマ（8年度）】

	テーマ	内容	7年度 実施回数
1	神奈川県に想定されている地震と自助・共助による対策	神奈川県に想定される地震の概要や備えについての講義	-
2	風水害について	近年の気象現象、気象災害及びいざというときの避難行動に関する講義	-
3	在宅避難に備えるトイレ対策	災害時のトイレ対策や、安心して自宅で過ごすための工夫について、自分事として考える講義	-
4	河川防災	鶴見川水系の河川防災に関する基礎知識についての講義	1回
5	建築物の防災	①木造住宅の危険性の正確な理解と安全対策についての講義 ②既存ブロック塀等の安全点検についての講義	2回
6	首都直下型地震や風水害を克服するまちづくり	地域の地質と災害リスクの読み取りから、被害を最小限にする防災組織と連携づくり、地区防災計画の作成等を講義・助言	2回
7	マンション防災	マンション特有の防災対策についての講義	2回
8	防災食	災害時の食品のローリングストックや備蓄食料の調理法の講義、体験	6回
9	発災時のトイレ問題	災害時に安心して使用できるトイレ環境の確保についての講義	2回
10	知的障害や自閉症の方への支援	災害時の知的障害や自閉症の方向けの支援について、当事者からの講義やコミュニケーションボードの使用法説明等	0回
合 計			15回

《参考》防災講話の実施

区内の団体等からの希望により、区防災担当職員が防災講話を実施します。講話のテーマは地震・風水害への備えを中心に、団体の希望する内容を伺ったうえで調整します（通年）。

【防災キャラバン及び防災講話の参加人数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
防災キャラバン	100人	296人	468人	758人	491人
防災講話	257人	1,008人	1,018人	1,529人	1,200人
合計	357人	1,304人	1,486人	2,287人	1,691人

7年度の防災講話実施数：23回（対象：自治会町内会、小学校、企業・団体等）



【防災キャラバン】

(6) 港北支えあい防災教室の実施

要援護者に関わるケアマネジャーや要配慮者施設（高齢者施設、保育所等）の職員が防災に関する基礎知識に加えて、職種や施設の特徴に応じた知識を得ることができるよう、研修会を実施します（7月～12月、2回）。



【港北支えあい防災教室】

(7) 区内の事業者や大規模商業施設等と連携した防災啓発の実施

区内の大規模商業施設等と連携し、啓発イベントへの参加や訓練等を行います。

・「港北シェイクアウト！」の実施

大地震発生時に一人ひとりの命を守るための初動対応訓練を、区民や区内事業者の参加を募り、大規模商業施設等と連携して実施します。

・防災イベントへの出展等

大規模商業施設が開催する防災イベント等に出展し、来場者に啓発を行います。

【参加する防災啓発イベント】

時期	施設等名称	イベント名	啓発実施内容
9月	トレッサ横浜	トレッサ防災フェア	パネル展示、 啓発資料配布、 ワークショップ 等
11月	横浜アリーナ	ふるさと港北 ふれあいまつり	
3月	アピタテラス 横浜綱島	こども防災フェア	



【トレッサ防災フェア】



【こども防災フェア】

(8) まるごとまちごとハザードマップの設置

生活する地域における洪水の危険性を実感し、適切な避難行動につなげるため、想定浸水深や避難場所を示した看板等を、菊名地区、高田地区、師岡地区及び篠原地区の洪水浸水想定区域内の「まちなか」の電柱に設置します。地区内の設置場所は地区定例会を通じて地域と調整しながら決定します（1～3月）。

【看板の設置状況及び今後の予定】

年度	地区	設置箇所数	
4年度	大倉山	50	100
	綱島	50	
5年度	城郷	50	99
	新羽	49	
6年度	新吉田	60	90
	新吉田あすなろ		
	樽町	30	
7年度	日吉	60	80
	大曽根	20	
8年度 (予定)	菊名	55	90
	高田	20	
	師岡	10	
	篠原	5	
計	13地区		459



【想定浸水深を表示した看板と浸水深の高さに設置したテープ（城郷地区）】

(9) かけ地相談会の実施

区内のかけ地周辺の土地が所有者によって適切に管理され、土砂災害の被害を抑制するため、地盤の専門家である地盤品質判定士が、相談を希望する参加者の管理するかけ地の状況を分析し、対応の必要性を検討する相談会を区独自に実施します（6月14日・15日、計12組（1日あたり6組×2日間））。

(10) 各種防災啓発用資料の更新、印刷

日頃から区民が自宅等の危険性や災害時の避難場所を確認できるよう、港北区防災・区民生活マップやハザードマップ等の啓発用資料を更新します。特に、大雨時の避難行動を促す冊子については、新たな防災気象情報の運用に合わせて更新します（5～6月）。

2 避難所等の環境改善及び運営支援 【(8) 3,640千円、(7) 5,660千円】

(1) ニーズに沿った地域防災拠点備蓄倉庫への資機材配備《新規》

地域防災拠点運営委員から必要な資機材等をヒアリングし、各拠点の希望に適った資機材（マグネットライトや折りたたみ式リヤカー、乾電池等）の配備を行います。

(2) 地域防災拠点備蓄倉庫の狭あい化への対応

備蓄倉庫の狭あい化及び備蓄物資の拡充に対応するため、委託事業者による防災備蓄倉庫の整理整頓及び棚卸を行い、地域防災拠点運営委員会の円滑な活動を支援します（8～12月、5拠点）。



【実施前】



【実施後】

(3) 資機材取扱指導員の派遣

災害発生時に資機材を取り扱うことができる人材を安定的に確保するため、資機材取扱指導員を地域防災拠点運営委員会に派遣し、資機材の取扱研修を行います（9～12月、20拠点程度）。

(4) 備蓄資機材の修繕・更新

各地域防災拠点に備蓄されている発電機等の資機材について、地域防災拠点運営委員会の要請等に応じた修繕・更新を行います。

3 区災害対策本部の効率的な設置運営 【(8) 3,586千円、(7) 4,167千円】

(1) 円滑な連絡体制の確保

大規模災害時においても避難所等の情報受伝達を円滑に行うため、携帯回線を使用するIP無線機や、災害発生時も安定して通信できる地域BWA回線（※）に対応した公用スマートフォン等の各種通信機器を継続して運用します。



※地域 BWA とは

市区町村単位で地域事業者が提供する通信システムです。公共サービスに利用することを想定し、大手キャリアとは別に基地局を整備しているため、災害発生時の通信の混雑が発生しにくいとされています。

港北区では、イツツ・コミュニケーションズ㈱が免許を取得しています。

(2) 災害時における避難場所借上げの実施

風水害時等に必要に応じて地区センター等を避難場所として借り上げ、施設使用料を負担します。

(3) 港北区災害対策本部訓練等の実施

区本部機能強化のため、各種訓練等を実施します。

【訓練】

- ・区職員動員訓練（9月～12月）
- ・震災対策本部各班訓練（11月～12月）
- ・震災対策区本部訓練（1月）
- ・区職員安否確認訓練（1月）

【研修】

- ・風水害対策研修（4月）
- ・地域防災拠点参与係長研修（5月）
- ・震災対策研修（9月）
- ・拠点動員者研修（9月）



【風水害対策研修】

(4) 港北区災害対策本部用備品の購入

区本部の安定した運営を確保するため、備蓄食料や夏季の災害現場対応を想定した熱中症や防寒対策用品等の備品を購入します。

4 各種団体への補助 【(8) 150千円、(7) 150千円】

災害時に円滑なボランティア活動を実施するため、港北区災害ボランティア連絡会にコーディネーターの育成、訓練、必要な資機材の購入費として補助金を交付します。

《参考》防災・危機管理統括本部再配当予算]

- ・地域防災力向上事業
 - 地域防災活動奨励助成金
 - 区内 29 か所の地域防災拠点運営委員会へ助成（1拠点あたり 12 万円交付）
 - 町の防災組織活動費補助金
 - 区内 140 団体の町の防災組織へ補助（1世帯あたり 160 円交付）

《参考》

統合事業費

緊急時情報伝達システム運用事業【(8) 894 千円、(7) 884 千円】

避難指示等の避難情報を区民に迅速かつ確実に伝えるため、避難情報を発令する区域に居住する配信希望者等を対象に、電話による一斉発信及び応答機能を持つシステムを運用します。

【対象区域内の配信希望者等】(8年4月末時点)

洪水浸水想定区域内の災害時要援護者	2,757人
家屋倒壊等氾濫想定区域内の住民	193人
自体会・町内会長(区内全域)	125人
土砂災害警戒情報発表に伴う即時避難指示対象の区域の住民	3人
合計	3,078人

事業名・所管課	8 年度予算 (A)	7 年度予算 (B)	差 ▲引 (A-B)
1 - (2) 災害時医療整備事業	424千円	424千円	0千円
福祉保健課	増減理由		

【事業の概要】

災害時医療等の対策を講じるため、医師会、歯科医師会、薬剤師会（以下「三師会」という。）をはじめとした関係機関との各種会議や医療救護隊の訓練を実施するとともに、災害時の体制維持に向け、必要物品の整備、災害支援ナース（以下「Yナース」という。）の登録促進と育成を進めます。

【主な内容】

1 災害医療体制の整備 【(8) 194千円、(7) 194千円】

(1) 災害医療連絡会議

三師会、Yナース、病院等の医療関係者と、区、警察、消防等の行政機関が参加し、災害時の医療体制及び医療救護活動に関し、意見交換や情報共有を行います（年3回、6月16日、10月20日、2月16日）。



【災害医療連絡会議】

(2) 災害時の医療体制の区民周知

災害時の医療体制や救急医療と災害医療の違い等について、三師会と連携して、チラシの配布やSNS等の電子媒体を活用した広報を行います。

2 医療救護隊訓練の実施 【(8) 15千円、(7) 50千円】

参集実地訓練（12月）や地域防災拠点における医療機関報告書持込訓練（9月～11月）、のぼり旗・フラッグ掲出訓練（9月、1月）のほか、医療機関や医療局との通信訓練（医療機関：年4回、医療局：年6回）を実施します。

【訓練の参加人数】

年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
参集実地訓練（人数）	41人	70人	64人	70人	73人
報告書持込訓練 （参加医療機関数）	—	41機関 （3 拠点）	52機関 （5 拠点）	74機関 （7 拠点）	69機関 （6 拠点）

3 医療救護隊用装備品の整備 【(8) 195千円、(7) 160千円】

- 医療救護隊等による定点診療や巡回診療に必要な装備品を整備します。

4 災害支援ナース（Yナース）の登録促進と育成 【(8) 20千円、(7) 20千円】

- 広報よこはま区版やSNS等の電子媒体、リーフレットによる登録勧奨を行います。
- Yナース連絡会を開催します。（年1回）

【Yナース登録者数】

年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
登録人数	72人	66人	66人	65人	70人

1 - (3) 地域における災害時要援護者支援推進事業

事業名・所管課	8 年度予算 (A)	7 年度予算 (B)	増▲減 (A-B)
1 - (3) 地域における災害時 要援護者支援推進事業	1,633千円	1,345千円	288千円
高齢・障害支援課	増減理由	啓発動画作成による増 など	

【事業の概要】

地域の方と災害時要援護者（以下「要援護者」という。）との平常時の関係構築と防災意識醸成の取組を推進するため、地域への情報提供に同意をいただいた要援護者宅への訪問用の防災物品と啓発チラシを作成・配付するとともに、要援護者を含む市民に対し、要援護者支援の理解を深めるための啓発を推進します。

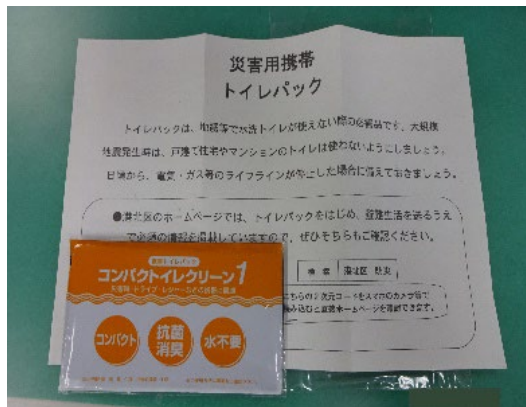
また、区内協力企業等による、長期停電時における要電源医療機器利用者へのバッテリーの貸出し・充電等の支援を行います。

【主な内容】

1 災害時要援護者啓発推進事業 【(8) 1,619千円、(7) 1,120千円】《拡充》

地域の支援者を対象に、災害用備蓄品及び防災情報の啓発チラシを配付し、要援護者名簿に掲載された方のうち、地域への情報提供に同意いただいた方への訪問時にお渡しいただくことで、支援者と要援護者の関係構築及び防災意識の醸成を進めます（3月、災害用備蓄品6,000個、啓発チラシ6,000部）。

また、地域の支援者に向けて事業概要リーフレットを配付するとともに、市民に向けて、新たに要援護者支援の理解を深めるための動画の作成・配信等を行い、啓発を推進します（10月～3月）。



【備蓄品と啓発チラシ】



【災害時要援護者支援事業概要リーフレット】

[健康福祉局再配当予算]

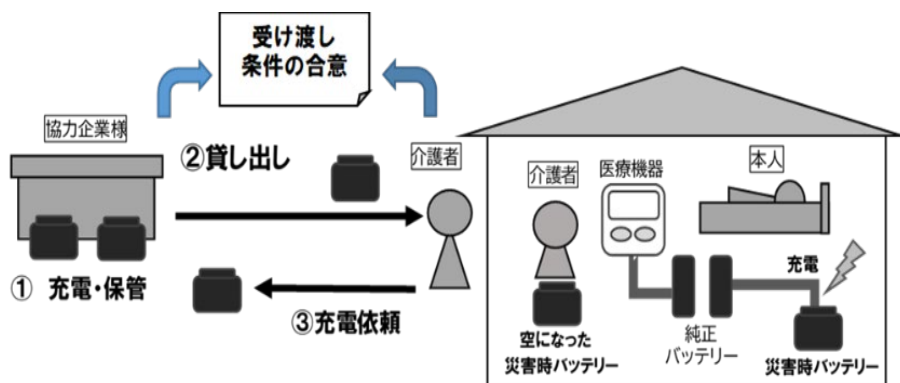
・災害時要援護者支援事業

災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが困難な方（高齢者、障害者等）を対象とした名簿を作成し、協定を結んだ自治会町内会に名簿を提供します。

2 要電源医療機器利用者支援事業 【(8) 14千円、(7) 225千円】

区内の協力企業に災害時用のポータブルバッテリーを貸与し、協力企業による共助の取組として、長期停電時に要電源医療機器利用者に充電済みのバッテリーを貸し出すほか、利用者が所有する医療機器用バッテリーの充電などの支援を行います（通年、協定締結企業12社、利用者7人）。

また、健康福祉局及び医療局による事業が拡充されたことから、併せて周知を図ります。



【取組のイメージ】



【ポータブルバッテリー】

協力企業は区が用意したポータブルバッテリーを使い、次のサイクルをつくります。

- ① 平常時は充電・保管
- ② 1日超の長期停電時に貸出し
- ③ 対象者のバッテリーの充電

《参考》

【港北区における人工呼吸器等要電源医療的ケア児・者災害時個別避難計画（医療局事業）の作成状況（令和7年度）】

- ・計画作成の同意書取得数 19人
- ・計画作成完了数 5人

《参考》

局事業

〔健康福祉局事業〕

- ・横浜市要電源障害児者等災害時電源確保支援事業

災害等による停電時の備えとして、電源が必要な医療機器を在宅で使用している方に対し、蓄電池等の非常用電源装置の給付を行います（収入により給付上限額あり）。

〔医療局事業〕

- ・人工呼吸器等要電源医療的ケア児・者等災害時個別避難計画の作成

電源が必要な医療機器を在宅で使用している方のうち、災害時に電源確保等の支援が必要な方について、個別避難計画を作成します。

1－(4) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	増▲減(A-B)
1－(4) 港北AAA (安全で安心な明日を) 地域防犯力向上作戦	1,332千円	1,082千円	250千円
地域振興課	増減理由	高齢者向け啓発チラシ作成による増 など	

【事業の概要】

安全で安心なまちづくりを目指し、地域団体、事業者、行政機関等が協働して防犯活動に取り組みます。各団体と連携して特殊詐欺啓発物品の積極的な配布、高齢者に向けた防犯啓発、自治会町内会による防犯活動の物品配布やメールでの区内犯罪発生情報の発信など、区民の防犯活動支援と犯罪情報提供を実施します。

【主な内容】

1 防犯啓発活動事業 【(8) 772千円、(7) 472千円】

(1) 港北AAA（安全で安心な明日を）作戦会議の開催

警察や港北企業防犯協会等の防犯関係団体、地域、学校、事業者70団体による「港北AAA作戦会議」を開催します（6月）。また、地域の防犯力向上の活動への支援に取り組みます。

地域の取組事例：見守りサービス（郵便局）、セーフティーステーション活動（コンビニエンスストア）、防犯パトロール（自治会町内会、商店街他）など

(2) 高齢者向け防犯・安全対策の実施《拡充》

被害が急増している高齢者の特殊詐欺被害防止を中心とした防犯啓発を、地域イベントや自治会町内会、商店街や薬局等の身近な場所で新たに実施します。さらに高齢者本人だけではなく、その支援者など高齢者と日常的に係わる方たちも対象にすることで、多角的に啓発を展開します。

啓発チラシ及びグッズの作成（6月、5,000部）・配布（通年）

配布先の例：

- ・高齢者施設等への配布（高齢障害支援課と連携）
- ・港北区薬剤師会への依頼を通じた区内調剤薬局への配布
- ・区商店街連合会への依頼を通じた区内商店街店舗への配布 など

(3) 防犯パトロール関連物品等の作製・配布

「のぼり旗」や「ベスト」等、防犯活動を行う際に団体が使用する物品を作製・配布し、地域の防犯活動を支援します。

(4) 青色防犯灯装備車によるパトロール

警察の講習を受けた区職員が、週1回、犯罪発生地域を中心に青色防犯灯装備車で巡回し、放送による防犯啓発を行います。子どもの下校時間に合わせた見守りを行うとともに、警察と特殊詐欺等犯罪発生状況を共有し、手口が多様化している詐欺等その時々状況に合わせた注意を放送で呼び掛けます。

(5) 港北区安全・安心のつどいの開催（「交通安全 無事故でカエル事業」に掲載）

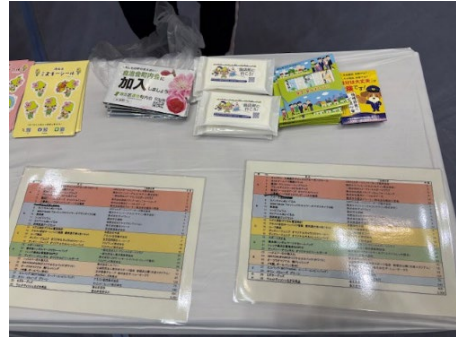
交通安全功労者表彰等と併せて、防犯功労者表彰や防犯講話を公会堂で実施します（12月）。

2 特殊詐欺対策機器設置啓発事業 【(8) 500千円、(7) 500千円】

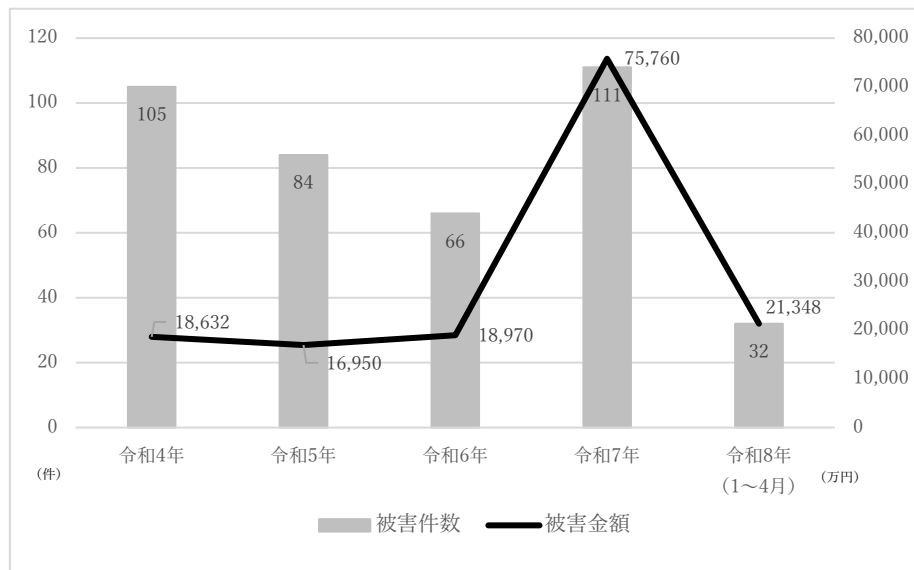
特殊詐欺被害が市内18区の中で多いことから、警察と連携し、行政主催会議や、ふるさと港北ふれあいまつりなどのイベント等を通じて特殊詐欺被害防止の啓発を行います。



【啓発グッズ】



【イベントでの啓発】



【港北区内の特殊詐欺被害状況】

《参考》

[市民局再配当予算]

- ・地域防犯啓発事業 【(8) 40 千円、(7) 50 千円】

自治会町内会や高齢者向けに、被害の大きい特殊詐欺被害防止啓発グッズを購入し配布します。

- ・ながら見守り強化事業 【(8) 50 千円、(7) 0 千円】

ながら見守り強化のための防犯活動を支援するため、グッズを購入し配布します。

3 防犯情報メール配信事業 【(8) 60 千円、(7) 110 千円】

防犯情報メールの登録者へ、特殊詐欺を含む警察からの情報提供があった犯罪発生状況や特殊詐欺警報等を、メール及び FAX で「防犯情報メール」として配信します。

【防犯情報メール登録者数】

年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	<u>8 年度</u> <u>(4 月末)</u>
延べ登録者数	11, 569 人	11, 778 人	11, 964 人	<u>12, 201 人</u>	<u>12, 207 人</u>

《参考》【港北区内犯罪発生状況 (暦年)】

	4 年	5 年	6 年	7 年	<u>8 年</u> <u>(1 ~ 4 月)</u>
犯罪発生件数	1, 426 件	1, 728 件	1, 691 件	1, 759 件	<u>531 件</u>
特殊詐欺	105 件	84 件	66 件	111 件	<u>32 件</u>
同被害額	1 億 8, 632 万 円	1 億 6, 950 万 円	1 億 8, 970 万 円	約 7 億 5, 760 万円	<u>約 2 億 1, 348</u> <u>万円</u>

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	増▲減(A-B)
1-(5) 交通安全 無事故でカエル事業	5,653千円	4,940千円	713千円
地域振興課	増減理由	啓発動画作成による増 など	

【事業の概要】

区民の交通安全意識を高め、交通事故を未然に防止するため、交通安全対策協議会をはじめとした関係団体と協力し、子どもから高齢者まで幅広い世代に向けた啓発活動を行います。

また、令和8年4月から自転車に対する交通反則通告制度（青切符）が導入されたことを契機に、主に若年層を中心とした啓発を実施するとともに、引き続き高齢者を対象に自転車マナーを含む交通ルールの啓発を実施します。

【主な内容】

1 交通安全運動事業 【(8) 833千円、(7) 333千円】

(1) 各種交通安全キャンペーンの実施

- ・春の全国交通安全運動キャンペーン（4月6日）
- ・夏の交通事故防止運動キャンペーン（7月10日）
- ・秋の全国交通安全運動キャンペーン（9月）
- ・年末の交通事故防止運動キャンペーン（12月）
- ・自転車マナーアップキャンペーン（5月8日）
- ・二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間キャンペーン（6月2日）



【各種交通安全キャンペーン】

(2) 交通安全啓発の実施《拡充》

- ・SNS等を活用した情報発信（通年）
- ・区内企業主催イベントにおける港北警察と連携した交通安全啓発（通年）
- ・防犯事業と合わせて功労者への表彰や交通安全講話等をプログラムとした「安全・安心のつどい」を開催します（12月3日）。
- ・自転車の交通ルールについて、若年層を主な対象とした啓発動画や高齢者向けのチラシを作成し、公共施設等での発信や駐輪場でのキャンペーン等を実施します（通年）。



【啓発動画の作成】



【港北区安全・安心のつどい】



【区内イベントでの啓発】

2 子育て関連施設交通安全対策事業 【(8) 528千円、(7) 102千円】

子育て施設の安全対策として、運転者へ施設の存在を知らせ、子どもの飛び出しに対する注意を促す看板を保育所や幼稚園等の施設へ配付します。

令和7年度実績 新規(2施設)、更新(5施設)

令和8年度計画 新規・更新(160施設程度)

3 児童交通安全対策事業 【(8) 4,042千円、(7) 4,305千円】

- 区内小学校の新入生を対象としたランドセルカバー贈呈式(4月7日)

- 区内全小学校26校における「はまっ子交通あんぜん教室」(4月21日より開始)

※低学年向けに歩行者教室、高学年向けに自転車教室を実施します。

雨天中止の場合、「児童向けはまっ子交通安全教室」動画による啓発を行います。

- 区内中学校(毎年1校)におけるスクエアドストレイト方式による交通安全教室(下半期)

- 交通安全ポスターコンクール(8～9月募集)と表彰(12月)

※各小学校児童による応募作品の中から優秀賞12作品を選定し、翌年の交通安全カレンダーに使用します。

- 区内スクールゾーン対策協議会に対する助成金交付

- スクールゾーン路面標示及びスクールゾーン電柱巻看板等の更新・設置



【ランドセルカバー贈呈式】



【はまっこ交通安全教室】



【交通安全カレンダー】



【スクールゾーン路面標示・電柱巻】



4 高齢者交通安全対策事業 【(8) 250千円、(7) 200千円】

- 交通安全シルバーリーダー連絡協議会総会(5月)

- 高齢者を対象としたシルバーウォークラリー及びシルバードライビングスクール等の交通安全教室(4月は荒天により中止、10月、12月)

- 高齢者が集まる地域ケアプラザやデイサービス等における免許返納の推進や交通安全の啓発(通年)

事業名・所管課	8 年度予算 (A)	7 年度予算 (B)	増▲減 (A-B)
1 - (6) 放置自転車対策事業	1,095千円	480千円	615千円
地域振興課	増減理由	アンケート調査実施による増	

【事業の概要】

駅前における歩行者の安全を確保するため、自転車等利用者に対する意識・行動調査を行い、施策に反映していくとともに、各駅自転車等放置防止推進協議会（以下、「協議会」という。）の活動やキャンペーン活動を支援することで自転車等の放置防止を促します。

【主な内容】

1 地域活動事業 【(8) 1,095千円、(7) 480千円】

(1) 自転車利用者を対象としたアンケート調査《新規》

- ・放置自転車の実態と要因を把握し、有効な対策を検証するため、区内で特に放置自転車等の多い綱島・新綱島駅及び日吉駅等において、自転車利用者を対象に、利用状況や改善策等に関するアンケート調査を実施します（上半期）。
- ・アンケート調査結果を踏まえた対策の検討・試行（下半期）

(2) 各駅自転車等放置防止推進協議会への補助・支援

- ・区内の協議会に対する活動費の助成（11協議会、8月）
- ・協議会が放置自転車クリーンキャンペーン等の活動を行う際に使用する物品等を配付し、各駅の状況に応じて、協議会の活動を支援します（通年）。
- ・駅ごとの放置状況や啓発方法等に関する情報共有を目的として、各協議会の代表による「港北区自転車等放置防止推進協議会連絡会」を開催します（2月）。



【放置自転車クリーンキャンペーン】

【区内全駅の1日における放置台数（合計）】

年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	<u>7 年度</u>
放置台数	214台	330台	181台	352台	<u>386台</u>
駐輪場台数	20,039台	19,461台	20,036台	20,425台	<u>20,181台</u>
利用台数	17,740台	19,329台	18,436台	19,101台	<u>20,042台</u>

※「横浜市鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査」より抜粋
（11月の平日の晴天時、午前10時から午後2時までに放置されていた台数）

《参考》道路・交通政策局事業

- ・自転車マナーアップ事業
- 自転車放置防止監視員の配置

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	差▲引(A-B)
1-(7) 快適な暮らしの衛生 応援事業	1,266千円	1,166千円	100千円
生活衛生課	増減理由	区民貸出用ハチ防護服の更新による増	

【事業の概要】

区民等からの食中毒、衛生害虫及びペットに関する相談に対し、原因調査や関係者への助言指導等を行うとともに、区ホームページやSNSを積極的に活用し、食品衛生、環境衛生及び動物愛護に関する知識の普及啓発を行い、区民の安全で快適な暮らしを支援します。

【主な内容】

1 食中毒・感染症防止対策事業 【(8) 464千円、(7) 464千円】

イラストや動画を掲載したSNSを発信し、区ホームページを活用して食中毒・感染症予防啓発を推進します。更に、啓発効果を高めるため、引き続き、YouTube動画広告※を掲載するほか、デジタルサイネージを活用します。※令和7年度 広告視聴回数：147,455回

【食中毒・感染症発生件数】

暦年		4年	5年	6年	7年	8年 (4月末)
食中毒	件数	2件	0件	3件	1件	0件
	患者数	4人	0人	16人	3人	0件
感染症※	件数	43件	41件	33件	45件	11件
	患者数	202人	731人	468人	506人	143人

※ノロウイルス、腸管出血性大腸菌等

2 住まいの衛生及びペットに関する相談・啓発事業 【(8) 802千円、(7) 702千円】《拡充》

衛生害虫やペットのマナー等の相談受付及び災害時ペット対策の啓発を推進します。

- ・ハチ、ねずみ等衛生害虫に関する相談受付、駆除機材の貸出（通年）
- ・ペットの適正飼育に関する相談受付、啓発・指導（通年）
- ・狂犬病予防注射集合会場での飼い主向け啓発（4月4日・5日・12日・18日、延べ471人）
- ・地域防災拠点運営委員会等へのペット対策啓発、YouTube 動画広告※掲載（5月～12月）

※令和7年度 広告視聴回数：158,182回

【衛生害虫・ペット関係の相談件数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (4月末)
衛生害虫	496件	378件	434件	398件	24件
ペット	126件	120件	127件	178件	21件



【マナー・防災に関する啓発資料、動画】



【ペットのマナー・防災対策教室】

2-(1)「ひっとプラン港北」推進事業

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	差▲引(A-B)
2-(1) 「ひっとプラン港北」 推進事業	1,258千円	1,768千円	▲510千円
福祉保健課	増減理由	第5期計画策定完了による減	

【事業の概要】

近隣関係の希薄化や支援を必要とする高齢者等の増加など、多様な福祉保健課題を解決するため、「港北区地域福祉保健計画」（以下「ひっとプラン港北」という。）の第5期計画（令和8～12年度）を推進するとともに、13地区で策定された地区別計画の推進を支援し、助け合い・支え合いのある安心して暮らせるまちを目指します。

令和8年度は第5期計画の初年度として、計画の周知を図りながら、区計画の推進と地区別計画の取組を後押しします。

【主な内容】

1 ひっとプラン港北推進事業 【(8) 1,258千円、(7) 1,768千円】

(1) 第5期計画の推進

- ・「ひっとプラン港北」担当職員向け研修（5月）
- ・「ひっとプラン港北」策定推進会議（7月・2月）
- ・「ひっとプラン港北」の説明動画を作成し、地域での説明やサポートスタッフへの研修時に活用します（10月）。
- ・各地区別計画策定推進委員会等をサポートスタッフ※が支援します（随時）。



【策定推進会議の様子】

※サポートスタッフ…地区別計画の推進支援を行う、区役所、区社協、地域ケアプラザの3者が連携して設置する支援体制

(2) 第5期計画の周知

- ・第5期計画を、地域関係者・関係機関や新たな層である若年層・働き世代等に向け、様々な場所やイベントで周知します（通年）。
- ・普及啓発物品の作成（9月）
- ・区民フォーラムの開催（10月）区民祭りにおける啓発（11月）
- ・小学校や地域団体等において出張講座を開催し、ひっとプラン港北への理解を促進します（通年）。
- ・計画冊子、概要版、地区別計画を印刷・配布します（随時）。



【普及啓発物品】

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	差▲引(A-B)
2-(2) 地域子育てサポート事業	8,678千円	8,894千円	▲216千円
こども家庭支援課	差引理由	窓口受付システム使用料の移管による減	

【事業の概要】

全ての妊産婦とそのパートナー及び子育て中の保護者が妊娠中から子育てのイメージを持ち、誰もが安心して出産・子育てができる、気持ちに余裕を持って子どもに向き合うことができるよう、子育てひろばや地域両親教室の利用促進及び赤ちゃん会の開催などにより、子育てしやすい環境を充実させます。

【主な内容】

1 「にんしん・あんしん・つながり」事業 【(8) 1,969千円、(7) 1,852千円】《拡充》

- ・子育ての相談ができる場所や親子の居場所がわからないという声を踏まえて、妊娠期から安心して出産・子育てができるように、妊産婦や転入者を対象に「親と子のつどいの広場」の利用促進に取り組みます（令和7年度に内容を見直した取組^{※1}を通年で提供します）。

※1：記念品付き体験券の配布、妊婦体験・沐浴体験、地域の子育て情報の提供、ミズキーを背景に記念写真撮影

- ・「親と子のつどいの広場」で土曜日を中心にマタニティプログラム^{※2}を実施します（5か所、各年4回以上）。

※2：同じ地域に住む先輩保護者や他の育児家庭との交流、沐浴などの子育て体験等

- ・港北区内各所において実施する両親教室等の妊娠期プログラムの情報を一元化したリーフレットを作成、配布し、身近な地域の居場所や区民利用施設で利用できる妊娠期プログラムを案内します。
- ・パマトコ等を活用し、妊娠期プログラムの広報を行います。

【マタニティプログラム実施施設数・実施回数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施施設数	6施設	6施設	4施設	5施設	5施設
実施回数	84回	81回	66回	60回	65回

【親と子の居場所の利用体験券配布枚数・利用延べ件数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度
体験券配布枚数	4,747枚	4,257枚	4,082枚	4,324枚
利用延べ件数	159件	229件	257件	232件

※4年度から利用体験券配布を実施

《参考》

局事業 [こども青少年局事業]

- ・親と子のつどいの広場事業

主に0～3歳の未就学児とその保護者を対象に、利用者同士の交流やつどいの場の提供、育児相談、地域の子育て関連情報の提供などを実施します。

2 地域両親教室事業 【(8) 1,000千円、(7) 1,000千円】

妊娠期から地域の子育て支援施設を利用するきっかけづくり及び仲間づくりのため、第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、参加しやすい土曜日・日曜日の両親教室を地域子育て支援拠点及び地域ケアプラザで実施します。あわせて、オンライン両親教室も実施します(年60回、うち、土曜・日曜両親教室(対面開催)44回、オンライン両親教室16回)。

【実施回数・参加人数】

土曜・日曜両親教室(対面開催)

年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施回数	36回	36回	36回	44回
延べ人数	980人	1,116人	1,162人	1,321人

※日曜日の地域両親教室は令和7年度から実施

オンライン両親教室

年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施回数	24回	23回	21回	13回
延べ人数	384人	259人	220人	118人

※4年度から事業開始

[こども青少年局再配当予算]

・両親教室

第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、区役所で、妊娠中の過ごし方や出産・子育てについて学ぶ教室を実施します。

3 みんなの両親教室事業 【(8) 102千円、(7) 102千円】

これまでの両親教室の対象者(第1子を妊娠している妊婦とそのパートナー)だけでなく、より多様な方を対象に、出産・子育てに向けた心構えや準備について学ぶ教室を、地域子育て支援拠点で実施します。

- ・これから父親になる方向け：年3回(土曜日)
- ・第2子以降を妊娠している方及びそのパートナー向け：年6回(平日)

【実施回数・参加人数】

年度		5年度	6年度	7年度
これから父親になる方向け	実施回数	4回	4回	3回
	延べ人数	21人	23人	24人
第2子以降	実施回数	5回	5回	6回
	延べ人数	15人	28人	35人

※5年度から事業開始

4 地域育児教室（赤ちゃん会）【(8) 2,055千円、(7) 1,957千円】

第1子の0歳児とその保護者を対象に、自治会館やケアプラザ等において、仲間づくり、親子での遊びの体験、育児に関する情報交換等を実施します（全23会場、年230回、各会場月1回（8月と1月を除く））。

【赤ちゃん会実施回数及び参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
開催回数	226回	229回	240回	240回	240回
実人数	2,209人	2,380人	2,313人	2,307人	2,323人
延べ人数	5,579人	6,661人	6,428人	6,373人	6,103人

5 母乳育児相談 【(8) 279千円、(7) 279千円】

母乳のことでお困りの方を対象に、助産師が相談支援を実施します。

（月2回 全24回）

【母乳育児相談参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
開催回数	24回	24回	24回	24回	24回
実人数	80人	100人	111人	102人	105人

局事業

〔こども青少年局事業〕

- ・横浜市産後母子ケア事業（訪問型母子ケア）

産後に心身の不調又は育児不安がある、家族等から十分な支援が受けられないなどにより、子どもを連れての外出に不安や困難のある母親を対象に、居宅に直接助産師が訪問して、母乳育児をはじめとする様々な育児のアドバイスをします。

6 歯つらつ歯みがき教室 【(8) 837千円、(7) 773千円】

0から1歳児とその保護者を対象に、歯科衛生士によるむし歯予防の話や歯みがきの実習の教室を実施します。

（年48回 ①歯みがきをこれから開始する方向け 年24回

②歯みがきをすでに開始している方向け 年24回）

【歯みがき教室参加者数（児・保護者の合計数）】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
開催回数	24回	36回	48回	48回	48回
（定員）	（240組）	（360組）	（360組）	（720組）	（720組）
実人数	365人	397人	523人	596人	608人

〔こども青少年局再配当予算〕

- ・乳幼児歯科相談

乳幼児とその保護者を対象に、歯科医師による健診や、個別歯みがき指導を実施します。

7 「窓口対応満足度」向上事業 【(8) 2,436千円、(7) 2,931千円】

区役所に来庁した方をお待たせすることなく、適切な情報を提供し、必要な手続きを円滑に行うため、窓口案内員を配置します。

また、発達相談のために子どもと一緒に来庁した保護者を対象に、落ち着いて相談ができるよう、お子さんを預かる保育協力者を配置します。

事業名・所管課	8 年度予算 (A)	7 年度予算 (B)	増▲減 (A-B)
2-(3) 食育推進事業	1,729千円	1,889千円	▲160千円
福祉保健課	増減理由	離乳食教室（離乳中期）の必要物品見直しによる減	

【事業の概要】

子どもの成長段階に応じて、離乳食手帳等の配付や離乳食教室等を実施するとともに、個別相談により一人ひとりの状況に応じた支援を行い、子どものより良い成長につながるよう食育を推進します。

また、食に関する疑問や不安を抱える保護者を地域の身近な場でも支援できるよう、地域の支援者の人材育成を行います。

【主な内容】

1 離乳食手帳及びチラシの配付（離乳初期） 【(8) 210千円、(7) 311千円】

離乳食の基礎知識を保護者が学び、子どもの成長記録を残し、活用します。離乳食教室の案内により、保護者に向けてバランスの良い食事について情報提供をします。

・作成部数：離乳食手帳 3,500部、離乳食教室案内チラシ 3,500部



【離乳食手帳】



【離乳食教室の案内（表・裏）】



2 離乳食教室 【(8) 702千円、(7) 805千円】

7～8か月児とその保護者を対象に、安心して離乳を進めていくため、離乳食教室を実施します。保護者が自宅で再現しやすいよう、離乳食の一口量や固さを体験する機会を設けます。

実施回数：月1～2回、年間20回（予定） 参加者数：1回24人、年間480人（見込み）

【離乳食教室の実施回数及び参加者数】

年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8年度 (4月末)
実施回数	36 回	48 回	24 回	20 回	2 回
参加者数 (実人数)	394 人	419 人	401 人	376 人	31 人
一回あたりの 平均参加者数	10.9 人	8.7 人	16.7 人	18.8 人	15.5 人

3 乳幼児期の食育事業（離乳後期以降） 【(8) 449千円、(7) 430千円】

離乳食から幼児食への移行期の食事に関する疑問や不安を解消するため、「歯つらつ歯みがき教室」において、1歳前後の食事ミニ講座及び簡易相談を実施します。

実施回数：月1回、年間12回（予定）

また、1歳6か月児健診受診時に幼児食のフードモデルの展示及び立ち寄り相談ブースを設けます。実施回数：月3回、年間36回（予定）

【乳幼児期の食育相談（離乳後期以降）の実施回数及び相談実施人数】

年度	7年度		8年度（4月末）	
	歯つらつ 歯みがき教室	1歳6か月 児健診	歯つらつ 歯みがき教室	1歳6か月 児健診
実施回数	12回	36回	2回	3回
実施人数	223人	801人	14人	61人

4 子どもの個別栄養相談 【(8) 183千円、(7) 166千円】

生後5か月以降の子どもとその保護者を対象に、個々の食事に関する不安や負担感の軽減を図るため、子どもの個別栄養相談を実施します。

実施回数：月2～3回、年間32回（予定） 参加者数：年間132人（見込み）

【子どもの個別栄養相談の相談者数】（健康福祉局再配当予算と合算）

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度（4月末）
相談者数 （実人数）	108人	106人	110人	95人	7人

《参考》[健康福祉局再配当予算]

- ・乳幼児食生活健康相談

0～18歳の子どもとその養育者に対して食生活健康相談を実施

5 地域の食育サポーター育成事業 【(8) 185千円、(7) 177千円】

乳幼児期の親子が集まるサロンや健診会場において、来所者の食事に関する個別相談を実施します。また、子どもが楽しく・おいしく・みんなで食べることの大切さを学べる食育啓発を実施します。実施回数：年間12回（予定）

【地域の食育サポーター実施回数】

年度	6年度	7年度	8年度（4月末）
実施回数	4回	4回	1回
参加人数	122人	99人	41人



【子育てサロンにおける開催の様子】

2-(4) 保育所支援・情報提供事業

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	増▲減(A-B)
2-(4) 保育所支援・情報提供事業	3,143千円	2,808千円	335千円
こども家庭支援課	増減理由	民間園向け研修回数の増 など	

【事業の概要】

区内保育所を支援するため、保育の質の確保・向上につながる取組を実施します。また、保育所等の情報を掲載した区独自の利用案内を作成・活用し、保育所利用に関する制度について情報を発信します。

【主な内容】

1 保育の質確保・向上事業 【(8) 1,200千円、(7) 1,200千円】

民間の保育所等を対象に臨床心理士等を派遣し、配慮の必要な子どもとの関わりや保護者との関わり、職場状況等の課題を解決する一助として、保育士のメンタルヘルスケアや職場環境などについて助言を行います。

- ・実施時期：5月～3月
- ・対応方法：園への訪問相談（園の状況により、オンラインまたは電話による対応も可能）
相談者の意向を踏まえ、必要に応じて最適な相談手法を検討し、支援を行います。
- ・相談体制：臨床心理士、こどもの発達支援の業務経験者、保育施設の施設長経験者、職場環境改善相談対応経験者等

【実施回数】

年度	令和6年度	令和7年度
相談件数	16回	8回
（うちオンライン・電話相談）	（6回）	（0回）

※令和6年度から開始

2 保育所等情報提供事業 【(8) 1,103千円、(7) 1,103千円】

区内の認可保育所や認可外保育所等の情報、保育サービスなどについてわかりやすく記載した港北区版の保育所等利用案内を作成・配布します。

- ・配布場所：区役所、行政サービスコーナー、区内認可保育所等、
港北区地域子育て支援拠点「どろっぷ・どろっぷサテライト」
親と子のつどいの広場
- ・発行部数：8,000部

【港北区版利用案内の発行部数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実数	13,000部	9,000部	10,000部	10,000部	8,000部

3 民間園向け研修事業 【(8) 270 千円、(7) 135 千円】《拡充》

保育の質の確保や保育の充実を目的とした研修を、施設長会の開催にあわせて、外部講師を招き実施します。

- ・実施回数：3テーマ×2回（令和7年度 3テーマ×1回）

施設長同士の対話を促進し、経験共有や課題解決力の向上、さらには園運営の質的強化を図るため、研修の回数を増やします。

【令和8年度実施日程】

- ・第1回：6月3日・4日「保育の質向上」に関する各園の取組
- ・第2回、第3回：未定

【令和7年度実施状況】

- ・第1回：6月24日「保育園における防災力向上～施設長の立場から考える～」
- ・第2回：10月16日「子どもの人権を守る保育の組織づくり～不適切な保育を防ぐために施設長ができること～」
- ・第3回：1月28日・29日「個別配慮の必要な園児とその保護者対応を考える」

【民間園向け研修事業への参加園数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
延べ数	98園	274園	233園	279園	287園

4 保育所等による子育て支援促進事業 【(8) 570 千円、(7) 370 千円】《拡充》

保育所が行う子育て世帯に対する育児支援を促進するため、親子で楽しく過ごしながら地域の子育て情報や保育所の情報を得られるよう、区内の公立保育所と民間保育所が連携して「にこにこ広場」を開催します。

- ・実施時期、回数：4月～3月、7回
- ・実施内容：ミニシアター、ふれあいあそび、育児相談コーナー、保育所紹介等

【令和8年度実施日程】

- ・篠原地域ケアプラザ 6月23日
- ・イオン横浜新吉田店 7月2日
- ・大豆戸地域ケアプラザ 9月3日
- ・日吉本町地域ケアプラザ 9月15日
- ・樽町地域ケアプラザ 10月29日
- ・日吉宮前公会堂 11月6日
- ・菊名コミュニティハウス 11月12日

【にこにこ広場参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施回数	3回	4回	5回	6回	7回※
実人数	259人	321人	347人	337人	627人

※当初は6回実施を予定していたところ、イオン横浜新吉田店の御協力があり、追加で1回実施しました。

2-(5) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	差▲引(A-B)
2-(5) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	370千円	370千円	0千円
こども家庭支援課	増減理由		

【事業の概要】

放課後児童健全育成事業所の運営体制の強化等を図るため、放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブ（以下「クラブ」という。）の職員を対象に研修を実施し、職員の能力向上につなげます。研修では、講義やグループワーク等を通じて、日ごろ顔をあわせる機会の少ない各クラブ職員に交流・情報交換の場を提供することで、クラブ間の連携強化も促進します。

また、クラブの利用を検討している児童と保護者の皆様のクラブ選びを支援するため、クラブの写真や特色等の情報を集約した紹介冊子（電子媒体）を通じて、クラブ情報の周知を図ります。

【主な内容】

1 クラブ職員研修事業 【(8) 203千円、(7) 203千円】

クラブ職員を対象に、ニーズを踏まえたテーマで研修を実施します（テーマ・内容は予定）。

研修テーマ	内 容	参加人数	実施時期
防災	火災、地震及び風水害時の備えと対応	定員 各35人	6月17日
表現活動	工作、絵描き等を通じた表現活動の工夫		7月～11月
発達理解	児童の発達段階、年齢に応じた関わり方		
怪我の予防	小学生の怪我の予防、応急処置等の対応		



【昨年度の様子（左：防災、中央：障害児理解と対応、右：保護者との信頼関係の構築）】

2 クラブ情報提供事業 【(8) 167千円、(7) 167千円】

区ウェブサイトで公開しているクラブ紹介冊子「小学生の放課後の居場所」（電子媒体）の案内やQRコード等を掲載したちらしを作成し、就学時健診等の際に配布します。

- ・対象経費：ちらし印刷及び配送、紹介冊子の更新
- ・配布数：ちらし5,000枚



【クラブ紹介冊子「小学生の放課後の居場所」】

2- (6) 困難な状況にある児童・家庭等への支援事業

事業名・所管課	8 年度予算 (A)	7 年度予算 (B)	差 ▲引 (A-B)
2- (6) 困難な状況にある児童・家庭等への支援事業	3,713千円	3,484千円	229千円
こども家庭支援課	増減理由	保護者向け講座の対象者拡大による増など	

【事業の概要】

児童虐待や養育環境に課題のある子育て家庭、DVなど、困難を抱えるこども及びその家庭等の状況を早期に把握し、包括的かつ適切な支援へつなげるため、地域住民への普及啓発や関係機関との連携など総合的な対策を推進し、こどもやその家族を社会全体で見守り、支える環境づくりを進めます。

【主な内容】

1 児童虐待防止対策事業 【(8) 1,305千円、(7) 1,084千円】

(1) 保護者向けの児童虐待予防啓発《拡充》

ア 体罰によらない子育てについての講座 (2日間×3回)

対象者について、既存の「主に未就学児から小学校3年生まで」の2回に加え、「小学校4年生から中学校3年生まで」(1回)を新たに実施します。

【7年度実績】各回定員20人

講座内容：①ほめ方・しかり方のヒント ②保護者のセルフケア

第1回：① 6/10 (17人)、② 7/16 (16人)

第2回：①10/31 (11人)、②11/20 (11人)

【8年度予定】各回定員15人

講座内容：①ほめ方・しかり方のヒント ②保護者のセルフケア

第1回：① 5/28、② 6/25

第2回：①10/1、②10/29

講座内容：①思春期に入のお子さんとの関わり方 ②保護者のセルフケア

第3回：①12/22、② 1/26

イ 学齢期保護者向けグループミーティング

児童虐待予防のため、乳幼児期からの切れ目のない支援に向けて、学齢期以降の子を持つ保護者を対象に、グループミーティング (月1回) を実施します。

《参考》[こども青少年局再配当予算]

- ・ファミリーサポートクラス (未就学児の子を持つ保護者を対象としたグループミーティング)

支援を必要とする保護者の育児不安の解消を図るため、グループミーティングの手法を活用した支援を実施します。

【ファミリーサポートクラス参加者数】

年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
回数	12回	12回	12回	12回	12回
実人数	10人	12人	15人	12人	14人
延人数	67人	55人	47人	43人	55人

2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり

(2) 区民向けの児童虐待防止啓発

児童虐待防止について広く区民に啓発するため、啓発グッズの配布やふるさと港北ふれあいまつりでの啓発活動を実施します。

また、子育て世帯が子育てをしていて感じている困りごと等を踏まえて、区民向けの児童虐待防止啓発講演会を実施します。

【講演会のテーマ及び参加者数】

年度	テーマ	参加者数
3年度	しつけを通して考える子どもを伸ばす関わり方 (オンライン開催)	24人
4年度	①小学生になったこどもへの声かけ ②思春期に入のお子さんとの関わり方	①47人 ②38人
5年度	こどものしつけってどうすればよいの？	63人
6年度	こどもに届くほめ方・しかり方	52人
7年度	こどものゲーム・ネット依存	72人
8年度	下半期実施予定	—

(3) 港北区要保護児童対策地域協議会関係機関との連携

港北区要保護児童対策地域協議会関係機関との連携を深めるため、全体会（年1回）、地区ごとのエリア別連絡会（6エリア各年1回）や、学校等との専門機関別連絡会（年2回）を実施します。

2 港北区版寄り添い型生活支援専門員派遣事業 【(8) 1,800千円、(7) 1,800千円】

養育支援を要する学齢期の児童を対象に、生活支援専門員の訪問による生活支援、学習支援、及び登校支援などを実施し、個々の児童がさまざまな体験を通じて成長する機会を提供します。

【港北区版寄り添い型生活支援専門員派遣事業利用者数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度
人数	3人	4人	9人	5人
回数	29回	44回	87回	57回

※4年度から事業開始

(1) 生活支援

生活支援専門員が自宅を訪問し、児童及び家庭の課題に合わせた個別の関わりの中で、生活能力の獲得に向けた多様かつ実践的な支援を行います。

(2) 学習支援

学習環境が整わないなどの理由から、家庭学習の習慣が身に着いていない児童に対して、自主的に学習に取り組んでいく姿勢を育む支援を行います。

(3) 登校支援及び児童が安心して過ごせる居場所利用等につなげる支援

不登校となっている児童に対し個別に自宅を訪問し、学校への同行など登校支援を行います。また、寄り添い型生活支援事業や寄り添い型学習支援事業等、集団参加の場や、さまざまな学習体験の場を利用できるよう支援を進めます。

《参考》[こども青少年局再配当予算]

・ 寄り添い型生活支援事業

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対して将来の進路選択の幅を広げ、生まれ育った環境によって左右されることなく、一人ひとりが基本的な生活・学習習慣を身に付け、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施します。

3 女性・児童の権利擁護のための法律相談 【(8) 608千円、(7) 600千円】

(1) DV弁護士相談

DV被害女性が、見通しを持ち、迅速かつ自信を持って決断・行動できるよう、DV被害や児童虐待等、専門領域に精通した弁護士による相談を実施します。

【7年度実績】年12回（月1回 各月2名、延べ 23名）

(2) 職員向け法律研修《拡充》

民法改正に伴う令和8年度からの父母離婚後の共同親権の制度化など、多様化するこども分野の相談に対応するため、職員向け法律研修を実施します。

実施方法について、1回あたりの時間を拡充し、より効果的な業務知識の習得を図ります。

【7年度実績】1回あたり1時間 ×年4回、延べ70名

【8年度予定】1回あたり1.5時間×年3回

《参考》

局事業

[こども青少年局事業]

・ 弁護士法律相談事業

区こども家庭支援課や横浜市DV相談支援センターにおける相談支援の中で法的アドバイスが必要な場合、区こども家庭支援課又はこども青少年局こどもの権利擁護課、もしくは横浜市DV相談支援センターの職員から、担当する弁護士へ電話又はFAXによる相談をします。

2-(7) 高齢者・障害者支え合い推進事業

事業名・所管課	8 年度予算 (A)	7 年度予算 (B)	増▲減 (A-B)
2 - (7) 高齢者・障害者支え合い 推進事業	3,355千円	3,238千円	117千円
高齢・障害支援課	増減理由	地域包括ケアシステム推進事業の 啓発物作成等による増	

【事業の概要】

誰もが安心して暮らし続けることができるよう、高齢者・障害者等への理解を広げるための啓発や関係者への支援を行います。また、区役所窓口での来庁者へのサポートを実施します。

【主な内容】

1 地域包括ケアシステム推進事業 【(8) 1,309千円、(7) 808千円】

健康福祉局、医療局からの再配当予算事業と一体的に事業を実施し、「区レベル地域ケア会議」※1の開催等を通じて、地域包括ケアシステムの構築を推進します。

※1 区レベル地域ケア会議：医療・介護・地域組織等の代表者を構成員として、区域の課題の共有、ネットワーク構築、必要な取組を検討する会議

(1) 高齢者がいきいきと暮らし続けるための情報発信《新規》

ア 「人生100年準備パスポート」の作成・配布

前期高齢者に向けて、元気な今からできる準備に関する情報ガイドを作成し、民生委員・介護関係者を通じて高齢者本人や家族に配付するほか、診療所や薬局、イベント等で配付することにより、元気なうちから必要な取組や困りごとの相談先等を周知します。

イ 「きょういく・きょうようガイド」の更新・情報発信

港北区における高齢者向けの地域活動（サロン、趣味活動の場、生活支援等）の情報をまとめ、ホームページ等による情報発信及び支援者・関係機関を通じた啓発により、高齢者の社会参加を促進します。

ウ 様々な媒体・場を活用した周知・啓発

各種事業の取組に関する情報が各世代に伝わるよう、様々な媒体を活用した情報発信や「ふれあい祭り」等でのブース出展・啓発グッズの配布を通じて周知を行います。

エ 「港北MMダンス(港北区フレイル予防体操)」のリーフレット作成・配布

様々な世代を通じた「港北MMダンス」※2 の啓発により、無関心層に対してフレイル予防を周知し、フレイル予防に取り組む高齢者の増加を図ります。

※2 港北MMダンス：R6年度に横浜 F・マリノスの協力により作成した、港北区オリジナルのフレイル予防体操（立位編、座位編）



【きょういく・きょうようガイド】

【港北MMダンス リーフレット：立位編、座位編】

(2) 高齢者の安心・安全な暮らしを支えるネットワークの構築

ア 港北区SOSネットワーク事業「かえるネット」の推進

認知症高齢者が外出時に道に迷い行方不明になった場合でも早期に帰宅できるよう、家族等の連絡先などの登録情報を事前に区・警察・地域ケアプラザで共有する「かえるネット」のパンフレットを改訂し、普及啓発を進めます。

イ 高齢者虐待防止・早期対応に向けた連携の推進

高齢者虐待の未然防止や早期発見、迅速かつ適切な対応・支援の指針として活用する「高齢者虐待防止ハンドブック」を増刷し、関係機関等との連携を推進します。



【かえるネットパンフレット】



【高齢者虐待防止ハンドブック】

《参考》港北区における高齢者の状況

年度(3月末)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
65歳以上人口	70,289人	70,730人	71,222人	71,903人	72,741人
高齢化率	20.0%	19.9%	20.0%	20.0%	20.1%
認知症高齢者数※3	6,263人	6,696人	7,725人	7,902人	8,014人
要介護認定者数(1号)	13,189人	13,297人	13,778人	14,172人	14,522人

※3 要介護認定データを基にした「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の認知症高齢者の人数

《参考》

[健康福祉局再配当予算]

・地域づくり型介護予防事業

介護予防普及啓発事業（フレイル予防の啓発等）
 地域介護予防活動支援事業（介護予防人材育成）
 地域リハビリテーション活動支援事業（地域へ専門職派遣）
 元気づくりステーション事業（活動・立ち上げ支援）

・地域包括ケア推進事業

・認知症地域支援推進事業・認知症支援事業

区民を対象とする認知症講演会等の実施

・地域で支える介護者支援事業（認知症家族の介護者セミナー）

・在宅高齢者虐待防止事業

介護サービス従事者等向けの虐待防止研修会
 虐待防止のためのネットワークミーティング開催等

[医療局再配当予算]

・在宅医療・介護連携研修

港北区地域包括ケアシステムのめざす姿

- は はなれて暮らす家族も安心
- な なかよく、人とのつながりを大事にしよう
- み みんなが自分事のように考えて輝こう
- す 好きな家で、できる限り過ごせる
- き 気遣い・支え合いのあるまち 港北

はなみずきは、港北区の「木」です。平成3年に区民の一般公募で決定しました。若々しくモダンな印象が好まれました。



2 障害者支援事業 【(8) 460千円、(7) 837千円】

(1) 支援者向け研修

港北区地域自立支援協議会※4において、障害者虐待防止、支援機関の連携強化及び支援技術向上のための研修会等を企画・開催します。

※4 自立支援協議会…障害者等への支援の体制の整備を図るため、福祉、医療、教育又は雇用に関連する関係者が参加し、地域における支援体制の課題の共有や連携の強化などについて協議を行います。

【8年度の研修内容（予定）】

時期	実施テーマ	部会
9月	施設従事者等による虐待防止について（研修）	全体会議
11月	防災について（研修）	地域で暮らす部会

(2) 講演会・啓発イベントの実施

ア 障害理解の啓発イベント

港北区地域自立支援協議会、港北区社会福祉協議会セーフティネット分科会との連携により、障害理解の啓発イベントを区民向けに実施します。

【過年度実績】

年度	内容	参加者数
4年度	映画「だってしょうがないじゃない」上映会	111人
5年度	映画「星に語りて」上映会	128人
6年度	映画「梅切らぬバカ」上映会	222人
7年度	映画「どうすればよかったか？」上映会	165人

※ 4年度から実施（会場：港北公会堂）

イ 精神保健福祉に関する講演会

メンタルヘルス（心の健康）の大切さや障害の理解を目的として、区民向けに講演会等を実施します。

【直近5か年の講演会テーマ】

年度	テーマ	参加者数
3年度	アウトリーチ支援を考える	30人
4年度	メンタルヘルスの回復とは ～ピアサポートとリカバリーについて考える～	54人
5年度	生きづらさを抱える本人と家族の体験談 ～まもろうよこころ私たちが気づいて、できることって何だろう～	39人
6年度	親亡きあとも安心して精神障害者が地域で暮らすための社会資源 ～医療×保健×福祉～	40人
7年度	多様化する精神疾患の治療の実際 事例を通じて ～基礎知識と家族の関わり方講座	29人

(3) 健康講座等の開催

自身の健康についての理解を促進するため、作業所の利用者等に向けて健康講座等を開催します。

【健康講座実績・8年度予定】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度予定
実施回数	1回	4回	4回	2回	2回程度
参加者数	14人	74人	45人	19人	二

《参考》[健康福祉局再配当予算]

- ・精神障害者の生活教室事業
精神障害者の対人関係の改善や社会生活への適応促進等を目的とし、創作活動やスポーツなどの集団援助を継続的に実施します。
- ・難病相談事業
難病患者・家族がよりよい療養生活と社会生活を送ることができるよう、情報提供や相談の場である講演会・交流会を継続的に実施します。

《参考》港北区における障害者の状況

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
身体障害者 手帳所持者数	7,379人	7,294人	7,231人	7,221人	7,263人
精神保健福祉 手帳所持者数	3,151人	3,413人	3,657人	3,952人	4,195人
「愛の手帳」 所持者数	2,494人	2,603人	2,713人	2,832人	2,952人
合計	13,024人	13,310人	13,601人	14,005人	14,410人

※ 手帳所持者数の統計情報は年度末現在

3 窓口サポート事業 【(8) 1,586千円、(7) 1,593千円】

福祉保健相談窓口にて窓口サポーターが、高齢者や障害者向けに窓口での手続支援や案内等を行います。

【福祉保健相談窓口におけるサポート実績】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
件数	1,413件	1,738件	3,393件	2,281件	4,527件

《参考》港北区における福祉保健相談窓口の相談件数

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
件数	16,897件	17,717件	17,899件	18,300件	19,410件

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	増▲減(A-B)
2-(8) 健康こうほく21事業	2,901千円	3,351千円	▲450千円
福祉保健課	増減理由	委託費等の見直しによる減	

【事業の概要】

健康寿命の延伸に向けては、若い世代からの生活習慣病予防と健康的な習慣づくりが重要です。働き・子育て世代に向けて、生活習慣の改善や意識・行動の変化を促す啓発を行います。

【主な内容】

1 未来に向かう生活習慣改善事業 【(8) 2,052千円、(7) 2,332千円】

働きながら子育てをする20～40代に対し、食事・運動・睡眠などの基本的な生活習慣の定着を図るため、口腔ケアや乳がんの早期発見、バランスの良い食事に関する啓発イベントを実施します。さらに、結婚や子育ての節目を捉え、婚姻届提出時や乳幼児健診時の来庁者に対して啓発を行います。

《主な取組内容》

令和7年度				令和8年度 度予定
実施日	取組	実施内容	参加者数	
6/1	歯と口の健康週間イベント	口腔ケア啓発	272人	<u>6/7</u>
10/13	トレッサ健康ウォーキング	YWPアプリスタンプラリー	304人	<u>10月</u>
11/8	ふるさと港北ふれあいまつり	乳がん早期発見・食生活啓発	663人	<u>11月</u>
年5回	健康測定イベント 7/15, 8/8, 9/9, 10/1, 10/10	健康測定（ベジチェック・骨密度）生活習慣改善アドバイス	77人	実施回数 調整中

※ 乳幼児健診会場、庁内デジタルサイネージ、区内商業施設における啓発動画の放映や、健康相談事業、地域行事における健康測定を別途実施します。

2 健康経営支援事業 【(8) 849千円、(7) 1,019千円】

働き・子育て世代の健康増進のため、事業所に対して健康経営を促進し、職場環境の改善を図ります。令和8年度は、前年度に実施したリーフレット配布の効果測定やニーズ調査等を踏まえ、啓発ツールや資料の作成、研修会などを実施し、効果的な取組を推進します。

・令和7年度実績

<u>8/29</u>	内部向け「女性特有の健康課題」に関する座談会
9月～10月	事業者向けアンケートの実施：回答数125件（送付先全体の約4割）リーフレットの効果測定及びニーズの調査
<u>11/16</u> <u>12/24</u>	区内事業所向けの健康づくりに関する出前講座（区内2事業者） ・区内造園業者 ・区内IT関連企業

・令和8年度予定

4月～6月	啓発ツール、研修資料等の制作
5月～10月	区内中小企業への事業説明、ハローワーク主催説明会等における啓発
11月以降	セミナー、研修会の開催

3-(1) 育もう「ふるさと港北」事業

事業名・所管課	8 年度予算 (A)	7 年度予算 (B)	差 ▲引 (A-B)
3-(1) 育もう「ふるさと港北」事業	9,255千円	9,555千円	▲300千円
地域振興課	増減理由	ふるさと港北ふれあいまつり事業における自主財源の増額に伴う補助金の減	

【事業の概要】

転入者の多い港北区において、区民の「ふるさと」意識を育み港北区への愛着を深めるために、世代間・地域間交流の場を提供します。

地域資源・歴史的遺産を活用し、区民各層の交流の促進を図るほか、区内を拠点とするプロスポーツチームとの連携・応援等を通じて、港北区の魅力を内外にアピールします。

【主な内容】

1 ふるさと港北ふれあいまつり事業 【(8) 5,260千円、(7) 5,560千円】

港北区をふるさとに思う「ふるさと港北」意識の醸成を図るため、ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会に補助金を交付し、子どもから高齢者・障がい者・外国人といった多くの区民が参加できる「ふるさと港北ふれあいまつり」を開催します。さらに、横浜グリーンエキスポと連携し、緑や環境に親しむ機会を取り入れることで、持続可能な取組への関心を高めます。

(11月23日 (月・祝))

【7 年度実績】(秋のヨコアリくんまつりと合同開催)

- ・来場者数 延べ約28,000人
- ・実施内容
メイン会場行事…ステージイベント14団体、各種ブース出店89団体、抽選会、
分会場行事…地区連合町内会が開催する盆踊り大会、健民祭等 (7月～)



【ふるさと港北ふれあいまつり (令和7年度)】

2 大倉山観梅会事業 【(8) 1,150千円、(7) 1,150千円】

港北区の観光及び商店街振興を図るため、大倉山観梅会実行委員会に補助金を交付し、「大倉山観梅会」を開催します (2月)。

- ・実施内容：舞踊・三曲演奏・地元団体のステージ、野点、梅酒の販売、商店街ブース、横浜グリーンエキスポ PRブース



【大倉山観梅会 (令和7年度)】

3 活気にあふれるまちづくり

《参考》[みどり環境局再配当予算]

- ・地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業【(8) 2,700千円、(7) 2,768千円】
大倉山観梅会実行委員会への補助金

3 小机城址魅力プロモーション事業 【(8) 1,450千円、(7) 1,450千円】

小机城址が続日本100名城に選定され全国的にも注目が集まっていることを契機に、小机城址の魅力プロモーションに取り組むことで「ふるさと港北」の意識を育みます。

(1) 小机城址まつり

港北区の観光振興のため、小机城址まつり実行委員会に対し、開催を支援します。

＜小机城址まつり概要＞

- ・日程 4月12日(日)
- ・内容 武者行列、小机城址太鼓・お囃子等のパフォーマンス
自治会町内会等の模擬店

(2) 小机城址の歴史の魅力発信

小机城址を紹介する案内冊子を作成・配布し、港北区の魅力を発信します。

また、区内小・中学校等での啓発を行うことで地元港北への愛着を深めます。

(3) 北条五代観光推進協議会参画

小机城址の効果的なプロモーションを行うため、北条氏ゆかりの城や史跡が存在する自治体で構成し、共同でPRしている「北条五代観光推進協議会」に参画し、協議会の活動を通して小机城址の魅力を発信します。

第62回小田原北条五代祭りへの参加 5月3日(日・祝)

4 わがまち港北映像ライブラリ事業 【(8) 525千円、(7) 525千円】

市民団体「わがまち港北映像プロジェクト」との協働により、港北区の歴史等に関する映像の制作や、それらの映像などをウェブサイト「港北映像ライブラリ」で配信することで、地域への愛着とふるさと意識を醸成します。

- ・配信用映像作品の制作、映像作品の活用(通年)
- ・ウェブサイト「港北映像ライブラリ」の管理運営(通年)
- ・港北図書館での「港北映像ライブラリ」の動画放映(通年)

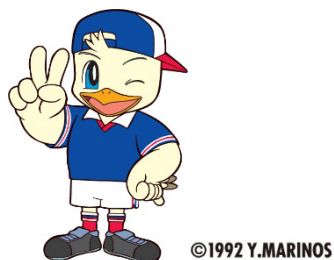
5 まちの魅力発信ショートムービー事業 【(8) 600千円、(7) 600千円】

区の魅力撮影したショートムービーコンテストを開催し、区の更なる魅力創出を行います。入賞作品は、区のウェブサイト他、様々な媒体を活用し配信を行います(7月より募集開始)。

6 「スポーツのチカラで港北を元気に！」事業 【(8) 270千円、(7) 270千円】

港北区における全国ブランドでもある「横浜F・マリノス」及びアジア最高峰のアジアリーグアイスホッケーに加盟している「横浜GRITS」、日本ラグビー最高峰リーグであるジャパンラグビーリーグワンの1部に所属している「横浜キヤノンイーグルス」と連携・協働することで地域活性化やスポーツ振興などにつながる様々な取り組みを進めていきます。

- ・横浜F・マリノス、横浜GRITS及び横浜キャノンイーグルスとのタイアップイベントの実施
- ・横浜F・マリノス及び横浜GRITSの地域貢献活動等の情報発信
- ・選手の「一日区長」イベントなどの開催



【マスコットキャラクター
マリノスケ】
@横浜 F・マリノス



【マスコットキャラクター
グルーガ】
@横浜 GRITS



【マスコットキャラクター
カノンちゃん】
@横浜キャノンイーグルス



事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	増▲減(A-B)
3-(2) 地域振興活動事業	2,850千円	3,000千円	▲150千円
地域振興課	増減理由	I C T化支援事業の実施方法見直しによる減 など	

【事業の概要】

自治会町内会の活動を支援するとともに、自治会町内会の永年在職者の表彰や研修会等の実施を通じて、住みよい地域づくりの推進を図ります。

【主な内容】

1 自治会町内会への支援・連携事業 【(8) 1,480千円、(7) 1,443千円】《拡充》

地域において大きな比重を占めている自治会町内会活動の支援を通じて、地域とのつながりを構築・強化し、協働のまちづくりを推進します。

地区ごとの特性を踏まえた効果的な手法による自治会町内会への加入促進に取り組みます。

(1) 自治会町内会の加入促進

- ・分譲マンション、賃貸等の居住傾向を地区ごとに分析し、自治会町内会と協議しながら加入促進に取り組みます。
- ・庁舎2階戸籍課の待合で転入者向け自治会町内会PRを実施します。
- ・区内郵便局や宅建協会に加入促進チラシを配架します。
- ・区関連イベントで自治会町内会の特設ブースを出展します。
- ・区内各所にてPR動画を放映します。

(2) 「自治会町内会掲示板への掲示物」等の各自治会町内会への送付

- ・送付回数：年10回（定例会が休会となる8月と12月を除く毎月）
- ・送付先：自治会町内会 149団体
- ・送付数：議題1件につき掲示物約1,200部等

2 自治会町内会長永年在職者表彰事業 【(8) 1,270千円、(7) 1,307千円】

自治会町内会長の日々の活動に対して感謝の意を表するため、自治会町内会長感謝会を実施します。

会長在職5年（区長表彰）、10年以上5年ごと（市長表彰）、地区連合町内会長在職10年（市長表彰）の自治会町内会長永年在職者を表彰します。

3 自治会町内会活動I C T化支援事業 【(8) 100千円、(7) 250千円】

自治会町内会活動へのI C T導入を円滑に推進し、活動の負担軽減に繋げることを目的に、事例紹介や自治会同士の交流会を開催します。

交流会後、アンケートや港北区連合町内会定例会資料の郵送継続希望調査等を実施し、効果を検証します。

《参考》[市民局再配当予算]

- ・地域活動推進費
区連合町内会、地区連合町内会、自治会町内会への補助
- ・防犯灯維持管理費補助金
自治会町内会所有の防犯灯に対する維持管理費の補助
- ・自治会・町内会館整備費補助金
自治会町内会館の新築、改修、修繕等整備費の補助

《参考》[市民局再配当予算]

- ・地域活動推進事業
- ・区連会ホームページの更新
- ・自治会町内会案内チラシ、加入促進啓発グッズの作製と配布
- ・自治会町内会区域図の提供
- ・区役所に申し出のあった加入希望者の自治会町内会への取り次ぎ
- ・建築局に提出されたマンション計画の地元自治会町内会への情報提供
- ・広報よこはまへの記事掲載
- ・「自治会町内会活動のしおり」配布
- ・イベントへの広告掲載 / 動画の放映
- ・デジタルサイネージでの自治会町内会への加入促進動画の放映



【区連会ホームページ更新】



【自治会町内会案内チラシ】



【入会申込者用特典防災キット】



【加入促進啓発災害用トイレキット】



【加入促進動画】

3-(3) 地域のチカラ応援事業

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	増▲減(A-B)
3-(3) 地域のチカラ応援事業	4,391千円	3,491千円	900千円
地域振興課	増減理由	補助金事業の拡充による増	

【事業の概要】

地域住民による地域課題の解決や魅力づくりに向けた主体的な取組を支援するため、市民公益活動を行う団体に対して、補助金交付や広報支援、有識者から活動に対する助言を行います。

また、交流の場の提供など団体間及び自治会・町内会との連携促進の取組を行います。

【主な内容】

1 地域のチカラ応援事業補助金の交付等 【(8)4,137千円、(7)3,197千円】

(1) 連携コース（自治会・町内会と連携して実施する事業に対する団体への補助金）《拡充》

区内で活動実績がある団体が、自治会・町内会と連携して実施する公益的事業を対象に、1団体最長3年間、年度あたり上限30万円の補助金を交付します（継続5団体に加え、新規5団体程度に交付）。

【交付団体数（見込み）】

年度	7年度		8年度	
団体数	5		10	
	新規	継続	新規	継続
	5		5	5

【令和7年度連携コース実施内容】

団体名	連携先自治会町内会	事業内容
大倉山プラチナヒップホップダンス実行委員会	大倉山地区連合町会	60～80代のシニア世代がダンスレッスンを受け、町会のイベントで披露 ⇒シニア層の健康増進や町会の活性化
熊野の森もろおかスタイル	師岡地区連合町内会	「師岡梅の丘公園」への梅の植樹など、子ども向けイベントを開催 ⇒子育て世代の地域活動への参加を促進
NPO法人タネとスプーン虹色畑クラブ	新吉田第四自治会	地域住民と引きこもり等の当事者がともに麦踏み作業を行う交流型援農イベントを開催 ⇒住民同士のつながりづくり
キッズスマイルみのわ	箕輪町町内会	子どもたちが地域で活躍する大人にインタビューし、動画配信を行う ⇒町内会の活動内容等を広く発信
綱島の防災、減災を考える会	綱島地区連合自治会	転入世帯や若い世帯に対し、防災講習会を開催 ⇒防災を通じて地域活動への参加を促進

(2) チャレンジコース

区内で活動実績がある団体による更なる公益的事業を対象に、1団体最長5年間、年度当たり上限30万円の補助金を交付します（令和6年度から新規申請の募集停止）。

【交付団体数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (見込み)
団体数	15団体	17団体	11団体	9団体	6団体

(3) パートナシップコース

区のエリアより小さな地域の事業に対し、港北区役所の名義使用承諾及び広報などの活動支援を行います。

【承諾団体数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
団体数	8団体	3団体	5団体	7団体	7団体

2 団体間の連携促進の取組 【(8) 254千円、(7) 294千円】

地域のチカラ応援事業活動補助金申請団体による報告会・市民活動交流会を開催し、有識者（地域のチカラ応援事業推進懇話会※委員）からの助言により団体間の連携を促進します。

また、補助金交付団体以外の活動団体や自治会・町内会との交流・情報交換、つながりづくりについても促進を図ります。

- ・自治会・町内会と市民活動団体による交流会（1回）
- ・市民活動団体による報告会・交流会（1回）
- ・専門家による助言（随時）

※地域のチカラ応援事業推進懇話会

市民活動の経験者、学識経験者など5名で構成されています。

補助金申請団体の活動に関して助言を行います。



【自治会・町内会と市民活動団体がつながる交流会（7年度）】

3-(4) 区民活動支援事業

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	増▲減(A-B)
3-(4) 区民活動支援事業	1,247千円	1,287千円	▲40千円
地域振興課	増減理由		

【事業の概要】

区域の中間支援組織として、地域課題の解決や魅力づくりを目指し、市民公益活動と生涯学習を支援します。

【主な内容】

1 区民活動支援センター事業 【(8) 195千円、(7) 195千円】

区民の地域活動や学習に関する情報提供、相談対応、機材の貸出しなどを行っています。

【センター利用者数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度※
人数	2,319	2,753	2,018	1,454

※利用者の定義見直しによる減。



【区民活動支援センター】 【イベント等のチラシの配架】

【ホームページでの活動情報紹介】

2 情報誌「楽遊学」の発行 【(8) 752千円、(7) 752千円】

団体の活動や活動の場、支援情報の紹介などを掲載した情報誌「楽遊学」を、区内の区民利用施設等や地域住民の交流の場であるコミュニティカフェ等において配布します。また、「楽遊学」のデジタル版へのアクセス件数を増やします。

- ・年6回発行、9,600部（1,600部/回）

3 市民グループ・団体支援事業 【(8) 300千円、(7) 340千円】

- ・地域の活動者を対象にDXを推進するため、ICT講座を開催します。（2回）
- ・若年層をターゲットに新たな活動の創出につなげる「港北地域学」を開催します。（4回）
- ・ファシリテーターを交えながら地域活動団体相互のつながりを深め、活動の発展を目指す「港北つながるカフェ」を開催します。（2回）
- ・グループ・団体の活動拠点となる地区センターや地域ケアプラザなどによる「施設間連携会議」を開催します。（1回）

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	増▲減(A-B)
3-(5) 読書活動推進事業	825千円	1,653千円	▲828千円
地域振興課	増減理由	第三次港北区読書活動推進目標策定終了による減	

【事業の概要】

読書活動を推進する取組として、本を活用した制作イベントの実施や、各種イベントにおける読書関連ブースの出展等を行うとともに、日吉図書取次所「日吉の本だな」における図書企画展示や朗読会のほか、港北区に関連する講演会等を開催します。

あわせて、地域全体で読書活動を推進するため、区内の読書関連施設や団体等と連携し、情報交換や交流会等を実施します。

【主な内容】

1 本とであおう事業 【(8) 195千円、(7) 205千円】

未来を担う子どもたちの読書活動を推進します。

(1) 本を活用した制作イベント

- ・小学生等を対象に、港北図書館の蔵書を活用した制作イベントを開催します（8月2日）。

(2) 本と出会おうイベント

- ・ふるさと港北ふれあいまつり／ヨコアリくんまつり（11月 横浜アリーナ）
読書活動推進月間に、港北図書館等と連携した各種図書展示等を実施します。



【港北図書館等による展示】

(3) ブックガイド配布

- ・絵本を介して親子がふれあうきっかけを作るブックガイド「おひざにだっこで楽しむ絵本」（中央図書館発行）を戸籍課窓口及び乳幼児健診会場で配布します。

2 読書情報発信事業 【(8) 600千円、(7) 300千円】

区民の読書活動の環境と機会の充実のため、読書を楽しむきっかけづくりや読書関連情報の発信を強化します。

(1) 図書取次サービス拠点（日吉の本だな）における情報発信等

- ・ 図書の取次機能に加えた読書関連情報等の発信（図書の企画展示やパネル展示等）
- ・ 地域交流、多世代交流の場として、区内活動団体と連携した企画等の実施（まちの先生等による朗読会やおはなし会等）



【日吉の本だな交流イベント】

(2) 各施設からの情報発信等《拡充》

- ・ 図書館や地区センター等の読書関連施設において、新着図書やテーマごとの蔵書の紹介を行うとともに、読書バリアフリーに関する広報を実施します。
- ・ 図書貸出や閲覧ができる区内公共施設等を紹介する「港北区本との出会いマップ」を改訂します。

(3) 蔵書情報等の発信

- ・ 区内の図書貸出施設や蔵書等に関する情報を集約し、区ウェブサイト等で発信します。

(4) 港北区読書講演会

- ・ 港北区にゆかりのある講師による講演会を開催し、区民が本に親しむ機会を創出しました（5月30日）。

【港北区読書講演会参加者数】（5年度から実施）

年度	5年度	6年度	7年度	8年度
延べ人数	48人	47人	44人	33人



【港北区読書講演会】

3 読書団体連携事業 【(8) 30千円、(7) 30千円】

図書館・関連施設・地域が協働した読書活動を推進するため、区内の図書関連施設や読み聞かせ等の活動団体と連携して、情報交換や交流会等を実施します。

(1) 読書活動推進関係機関連絡会

- ・区内小・中学校、保育園、地区センター等、図書館、区で構成する連絡会を実施します
(6月～7月)。

(2) 読み聞かせボランティア交流会

- ・学校や地域で読み聞かせの活動を行う団体の支援及び情報交換を目的とした交流会を実施します(6月30日)。

【読み聞かせボランティア交流会参加者数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度
延べ人数	24人	14人	18人	15人

※3年度は新型コロナウイルスの影響で開催を中止



【小学生向けの読み聞かせボランティア交流会】

(3) 読書フェスティバルイベントカレンダー

- ・読書活動推進月間に、区内公共施設等で開催される行事をまとめたイベントカレンダーを区ウェブサイトに掲載します(10～11月)。

4 第三次港北区読書活動推進目標策定事業 【(8) 0円、(7) 1,118千円】

第三次港北区読書活動推進目標を策定したため、令和7年度で事業は終了しました。

《参考》[教育委員会事務局再配当予算]

- ・横浜市民の読書活動推進事業
区づくり推進費と合算して、読書活動推進関連イベント等を実施

3-(6) 地域スポーツ推進事業

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	増▲減(A-B)
3-(6) 地域スポーツ推進事業	2,750千円	3,350千円	▲600千円
地域振興課	増減理由	スポーツ・クリーンアップ事業終了による減	

【事業の概要】

スポーツ活動を行う団体による、広く区民を対象とした事業の開催を支援することで、地域スポーツの活性化を図ります。

また、区内大学と連携し、港北区にゆかりのあるスポーツであるラグビー競技※1に親しむ機会を小学生へ提供することで、地域スポーツ活動の推進を図ります。

令和7年度より新たに設けた「スポーツ・リソース※2活用事業」については内容を拡充し、区民がアーバンスポーツ※3に触れる機会を創出します。

※1：日産スタジアム（ラグビーワールドカップ2019™決勝会場、横浜キャノニイーグルスホームスタジアム）、慶應義塾大学（日本の大学ラグビーのルーツ校）

※2：例＜ハード面＞ 日産スタジアム/日産ウォーターパーク/新横浜公園（スケボー広場）/横浜ラポール/KOSE新横浜スケートセンター ＜ソフト面＞ 港北区ゆかりのスポーツパートナーズ（横浜F・マリノス/横浜GRITS/横浜キャノニイーグルス）

※3：地域の広場や公園などを活用した、誰もが気軽に楽しめる都市型スポーツのこと。

【主な内容】

1 港北区スポーツ振興事業補助金 【(8) 450千円、(7) 450千円】

＜港北区スポーツ振興事業補助金の概要＞

目的	区内のスポーツ活動をより効果的に推進し、充実させる活動を行う団体を支援することにより、区内のスポーツの振興を図る。
補助対象事業	港北区スポーツ協会に加盟するスポーツ活動団体や要綱に定める団体が行う、地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業。
補助金額	上限22,500円（ただし、補助対象経費の2分の1以内）

【交付団体及び団体開催事業参加者数】

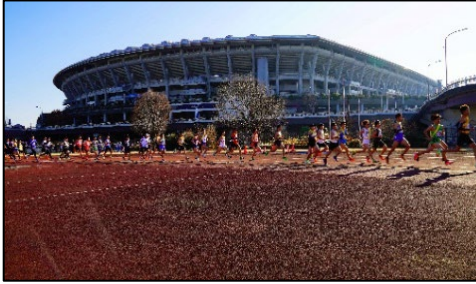
年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
団体数 (参加者数※)	13 (6,322人)	13 (5,213人)	15 (6,193人)	14 (5,239人)	15 (5,248人)

※ 参加者数は複数大会延べ回数に参加者を含む

2 港北駅伝大会 【(8) 1,000千円、(7) 1,000千円】

地域スポーツの推進に寄与するとともに、地域における世代間交流を図るため、港北駅伝大会実行委員会に補助金を交付し、港北駅伝大会の開催を支援します。

3 活気にあふれるまちづくり



【駅伝大会】

【参加チーム数】

年度	3年度※ ¹	4年度	5年度※ ²	6年度	7年度
チーム数 (参加者数)	中止	154 (913人)	141 (874人)	193 (1,143人)	210 (1,273人)

※1 2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止。

※2 5年度は当日の降雨を受けた参加人数(参考) 申込192チーム《1,167人》

3 大学とのスポーツ連携事業 【(8) 500千円、(7) 500千円】

慶應義塾大学等と連携して、小学校ラグビー授業へのサポート講師(学生)派遣や、ラグビー・スポーツ体験会を実施することにより、区内のスポーツ活動の推進を図ります。

(1) 小学校ラグビー授業サポート派遣

たいいくかいしゅうきゅうぶ

区内の小学校(全26校)に希望を募り、慶應義塾体育会蹴球部(ラグビー部)の学生を講師として派遣し、ラグビー授業を実施します。(5月～翌2月)

【実施実績】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施校数	7校	7校	12校	12校	12校

(2) 港北区&慶應ラグビー・スポーツ体験会

対象：小学生

会場：慶應義塾大学日吉ラグビーグラウンド(6月13日)

【実施実績】

年度	3年度※ ¹	4年度	5年度※ ²	6年度	7年度※ ³
参加人数	中止	52人	69人	65人	51人

※1 3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

※2 5年度は降雨による参加者減を受け、10月に追加実施した2回の延べ人数

※3 7年度は小雨の中での参加人数



【小学校ラグビー授業サポート派遣】



【ラグビー・スポーツ体験会】

4 スポーツ・リソース活用事業 【(8) 800千円、(7) 400千円】

港北区に存する多くのスポーツ資源を活用したイベントの開催により、区民の皆様に身近なスポーツ施設やプロスポーツ団体等の資源を広く認識していただくことを目的とします。

令和8年度は、令和7年度の事業実績を活かし、新横浜公園を活用したアーバンスポーツの体験イベントを開催します。

＜スポーツ・リソースの概要＞

参加者	港北区在住の区民
イベント規模	150 名程度
開催時期	10 月から 12 月
実施場所	新横浜公園内
プログラム内容	アーバンスポーツ体験（スケートボード体験、3 on 3 体験、インラインスケート体験等）



【7年度事業：スケートボード体験会】

【実施実績】

年度	7 年度
参加人数	第 1 回（令和 7 年10月 4 日）：35名 第 2 回（令和 7 年12月 6 日）：50名

※ 第 1 回は小雨の中での参加人数

5 スポーツ・クリーンアップ事業 【(8) 0 円、(7) 1,000千円】

令和 7 年度で事業を終了しました。

《参考》統合事業費

スポーツ推進委員支援事業 【(8) 2,093 千円、(7) 2,500 千円】

- ・スポーツ推進委員地区活動補助金
- 非委嘱年度による事務費の減

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	増▲減(A-B)
3-(7) 芸術文化振興事業	1,800千円	1,800千円	0千円
地域振興課	増減理由		

【事業の概要】

区内の芸術文化を振興するため、港北芸術祭実行委員会に補助金を交付し、質の高い芸術に触れる機会を提供する鑑賞型事業や区民の文化活動の発表の場を提供する参加型事業等の港北芸術祭を開催します。

【主な内容】

1 港北芸術祭実行委員会主催事業 【(8) 1,800千円、(7) 1,800千円】

(1) 鑑賞型事業

- ・二つの愛－チェーホフと谷崎潤一郎－(10月18日 港北公会堂)
前田真里衣氏等によるお芝居と、岩崎加根子氏等による朗読劇を実施します。
- ・奇跡の歌姫「渡辺はま子」(仮)(2月13日 港北公会堂)
横浜生まれの歌姫「渡辺はま子」をテーマにしたドラマリーディングライブ

《参考》7年度実施事業

- ・「バラライカ・オーケストラの響き」(9月28日 港北公会堂)
来場者数：338人
- ・「東京キューバンボーイズ ニューイヤーコンサート2026」(1月24日 港北公会堂)
来場者数：501人



【バラライカ・オーケストラの響き】



【東京キューバンボーイズ
ニューイヤーコンサート2026】

(2) 参加型事業

- ・さわってみよう！箏・尺八(7月26日 港北区役所)
- ・夏のファミリーコンサート(8月30日 港北公会堂)
- ・港北区中学校生徒音楽会(10月11日 港北公会堂)
- ・港北芸能大会(11月3日 ミズキーホール)
- ・港北三曲会演奏会(11月7日 港北公会堂)
- ・筆文字で遊ぼう(書道体験教室)(12月19日 ミズキーホール)
- ・港北美術展(2月23日～2月28日 大倉山記念館)
- ・オーケストラ体験教室(3月13日 港北公会堂)

【港北芸術祭実行委員会主催事業の実施事業数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
事業数	3事業	9事業	11事業	10事業	10事業

※3年度は、新型コロナウイルスの影響でイベント開催を中止したことによる減

【港北芸術祭実行委員会名簿（敬称略・五十音順・8年5月現在）】

氏名	職業等
青 博孝	港北区連合町内会長
岡 幹絵	コンサートの企画・構成・マネジメント
鎌田 悠紀子	書道家
古石 正史	港北区長
五大 路子	俳優
平賀 三男	ジャズトロンボーン奏者
堀 了介（会長）	チェロ奏者
三橋 貴風	尺八演奏家

《参考》各種団体主催事業（5月時点）

港北芸術祭に参加している後援行事について、広報よこはま港北区版への記事掲載や文化情報ホームページへの情報掲載など広報支援を行います。

- ・港北区民俗芸能のつどい（6月21日 港北公会堂）
- ・港北ダンスフェスティバル（11月29日 港北公会堂）
- ・港北童謡の会「ニューイヤーコンサート」（1月19日 港北公会堂）

【各種団体主催事業の実施事業数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施事業数	4事業	7事業	5事業	5事業	6事業

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	増▲減(A-B)
3-(8) 港北区商店街活性化事業	2,250千円	2,000千円	250千円
地域振興課	増減理由	イベント実施費用の増 など	

【事業の概要】

区内商店街及び商店街店舗の話題提供につながるイベント等の開催を通じて、消費者の関心及び認知度の向上を図るとともに、商店街の活性化を支援します。

【主な内容】

1 商店街活性化事業 【(8) 2,100千円、(7) 1,800千円】

商店街を利用するきっかけとなるイベント等（「こうほくの商店街 ちょいより散歩」スタンプラリー）を開催します。（10月～12月）

【「こうほくの商店街 ちょいより散歩」の応募件数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
実施方法	デジタル	紙	紙	紙	紙	デジタル
実施期間	1か月間	1か月間	2か月間	2か月間	2か月間	1か月間
参加店舗数	92店舗	82店舗	119店舗	107店舗	108店舗	108店舗
応募実件数	552件	179件	381件	606件	621件	347件
参加実人数	552人	冊子配布 5,500部	冊子配布 8,100部	冊子配布 7,000部	冊子配布 7,000部	288人



【紙のスタンプラリー】



【デジタルスタンプラリー】

※参加者の声（7年度イベント参加者アンケートより）

- ・ 普段通るが入ったことがないお店があり、このイベントをきっかけに知ることはできてよかった。
- ・ 実は身近に素敵なお店がたくさんあることを知るきっかけとなった。
- ・ スタンプラリー楽しく参加できました。また、商店街をまわってお店の方と話したいです。
- ・ 新しい店を利用する機会になってたのしかった。
- ・ 参加店のマップがあり今後のちょいより散歩に利用します。
- ・ 冊子がマップ付きで分かりやすかったです。
- ・ 毎年楽しみにしています。

2 商店街魅力発信事業 【(8) 150千円、(7) 200千円】

商店街の魅力発信を目的に、ニーズにあった講座を開催し商店街自らが情報を発信できるよう支援します。経済局商業振興課のHP、港北区公式X及びチラシの配架等、商店街のイベントの広報を支援します。

(令和7年度実績) SNS講座 令和8年3月3日(火) 19名参加

《参考》[経済局再配当予算]

- ・港北区商店街活性化イベント事業補助金 【(8) 1,661 千円、(7) 1,661 千円】
商店街が主催して行うイベント開催経費に対して補助金を交付します。

(7年度補助金交付団体)

- ・菊名東口商栄会「毘沙門天祭りチャリティー縁日」
- ・つなしまオータムフェスティバル実行委員会「つなしまオータムフェスティバル」
- ・大倉山商店街振興組合「大倉山クリスマス2025」
- ・小机商店街協同組合「夏の大売り出し&盆踊り」
- ・妙蓮寺ニコニコ会「妙蓮寺ニコニコフェス2025」
- ・綱島モール商店会「綱島モール商店街フリーマーケット2025」
- ・メイルロード商店会「メイルロード商店会七夕まつり」
- ・箕輪町商工会「箕輪商工フェア」

3-(9) 港北オープンファクトリー事業

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	差▲引(A-B)
3-(9) 港北オープンファクトリー事業	874千円	677千円	197千円
区政推進課	増減理由	過年度実績及び参加者増に伴う増	

【事業の概要】

港北区には、市内18区で最多となる1,100か所以上の工場があります。「ものづくりの現場が生活の身近なところにある」という区の特徴を生かし、地域の魅力やものづくりの面白さを伝えるため、普段は入ることのできない工場での見学・体験ツアーを中心としたイベント「港北オープンファクトリー」を開催します。

【主な内容】

1 港北オープンファクトリー 【(8) 874千円、(7) 677千円】

区内で製造業を営む企業と連携し、工場見学や体験を中心としたイベント「第15回 港北オープンファクトリー」を開催します。



【第14回イベントチラシ】

【第14回イベントの様子】

《参考》【港北オープンファクトリーの開催状況】

年度(回数)	開催日数	協力企業数	延べ参加者数	備考
3年度(第10回)	—	8	468人	区内の小学校の児童を対象にオンライン形式で開催
4年度(第11回)	1日	12	286人	4年ぶりにリアル開催
5年度(第12回)	1日	15	451人	リアル開催では過去最大規模
6年度(第13回)	1日	15	450人	過去最多の参加者申込数
7年度(第14回)	1日	18	494人	過去最多の協力企業数

【第14回 港北オープンファクトリーの協力企業 計18社】

(株)オースズ、(株)キョーワハーツ、(株)互省製作所、(株)さくら樹脂、(有)鈴木機械彫刻所、(株)第一鉸製作所、(株)田島精研、(株)宮川製作所、ユニオンソーシャルシステム(株)、石山ネジ(株)、(株)パネックス、ヤマセ精機(株)、(株)シルファー、(株)東京ダイス、東洋測器(株)、日本軸受加工(株)、(株)ヒートエナジーテック、横浜高周波工業(株)

【経済局再配当予算】

- ・ものづくり魅力発信事業
港北オープンファクトリー開催に係る運營業務委託費に充当

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	差▲引(A-B)
3-(10) まちづくり調整費	5,036千円	3,077千円	1,959千円
区政推進課	増減理由	区マスタープラン改定検討調査による増など	

【事業の概要】

区内のまちづくりの円滑な推進や地域の課題の解決のため、必要な調査や関係機関との調整を行います。

【主な内容】

1 都市計画マスタープラン港北区プラン改定検討調査費

【(8) 1,000千円、(7) 0千円】《新規》

都市計画マスタープラン全体構想（全市プラン）等の改定を踏まえ、地域別構想（港北区プラン）の改定検討を進めます。令和8年度は、まちづくりの課題整理やヒアリング等を行います。

【スケジュール】

年度	8年度	9年度	10年度
内容	<u>まちづくりの課題整理</u> <u>ヒアリング等</u>	素案公表 素案説明会/意見募集 原案作成	原案公表 意見募集 プラン改定

《参考》

局事業 [都市整備局事業]

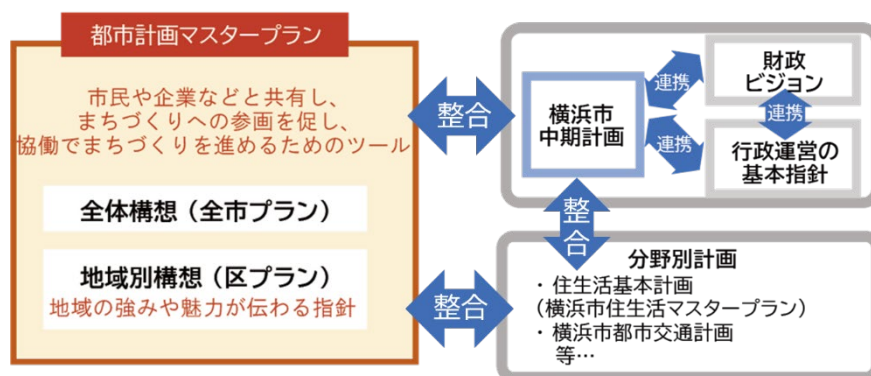
- ・まちづくり誘導調整事業

区プラン作成のために、区と局で検討委託業務を一括発注します。

《参考》

都市計画マスタープラン 全市プランと区プランの関係性

- ・全体構想（全市プラン） 令和7年5月改定
- ・地域別構想（区プラン） …地域別方針：都市整備局主体で作成
…区別計画：区役所主体で作成



2 まちづくり調整費・まちづくり調査費 【(8) 4,036千円、(7) 3,077千円】

(1) 地域課題の解決に向けたまちづくり

地域課題解決のため、区内における様々な機関と連携しながら必要に応じて随時適切な調査・対応を実施します。

【まちづくり調査等の過年度実績】

年度	実施内容
3年度	港北区データ整理検討
4年度	—
5年度	日吉駅西口周辺交通空間改善検討
6年度	日吉駅西口周辺交通空間改善検討
7年度	日吉駅西口一方通行開始（周知等）

(2) 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（慶應SDM）との連携

慶應SDMと連携し、横浜グリーンエクスポも見据えた「暑さ対策」に関する取組を令和7年度に引き続き実施します。

【連携協定の概要】

港北区と慶應SDMは、平成29年5月に、「教育研究成果を活用した地域の課題についての調査・事業の実施、スポーツに関する取組やデータの活用検討等を通じて、相互のさらなる発展に寄与すること」を目的とした連携協定を締結しています。

【連携事業の過年度実績】

年度	実施内容
3年度	・スポーツプロジェクト ・港北オンラインラジオ体操
4年度	「システム×デザイン思考」の実践を通じて、地域課題の解決を学ぶワークショップ
5年度	「システム×デザイン思考」の実践を通じて、「防災の自分ごと化」に繋がるアイデア創出を図るワークショップ
6年度	「GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）」も見据えた「暑さ対策」における実証実験
7年度	「GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）」も見据え市民ボランティアを想定した「暑さ対策」における実証実験



【7年度実証実験】

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	増▲減(A-B)
3-(11) GREEN×EXPO 2027・脱炭素推進事業	3,600千円	3,200千円	400千円
区政推進課	増減理由	事業移管に伴う増	

【事業の概要】

開催を令和8年度末に迎える横浜グリーンエキスポに向け、あらゆる取組を通じて区民の皆様と共に開催を盛り上げ、認知度向上及び参加意欲の向上につなげます。

さらに、2050年の脱炭素社会の実現に向け、区民が自主的・主体的に自然環境を守り、温暖化対策・脱炭素化に向けた行動変容を促すことができるよう、区役所・区民・事業者が連携し、脱炭素の推進を通じた港北区の更なる成長につながる取組を行います。

【主な内容】

1 港北育苗プロジェクト 【(8) 1,000千円、(7) 0千円※】《拡充》

(※R7「港北ガーデンシティ推進事業」の「港北育苗プロジェクト」500千円)

港北区内全26校の小学生や福祉施設の高齢者・障がい者が花や緑と触れ合う機会を創出し、親子・地域が連れ立って横浜グリーンエキスポ会場に足を運ぶきっかけとなるよう、「港北育苗プロジェクト」を実施します。

- ・区内小学校・施設での育苗（10～2月）
- ・区内地域花壇及び横浜グリーンエキスポ会場周辺への定植（2～4月）

2 屋上緑化推進事業 【(8) 250千円、(7) 0千円※】

(※R7「港北ガーデンシティ推進事業」の「屋上緑化推進事業」250千円)

区民ボランティアと連携して区庁舎及び太尾小学校屋上庭園の維持管理や、区民が身近な自然に親しむ機会を創出することで、横浜グリーンエキスポを区民の皆様と共に盛り上げます。

3 港北水と緑の学校事業 【(8) 1,950千円、(7) 0千円※】《拡充》

(※R7「港北ガーデンシティ推進事業」の「港北水と緑の学校事業」1,860千円)

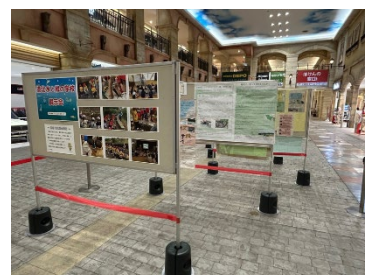
環境活動や防災活動が地域に根付くことを目指し、区内小学生向けに鶴見川流域の自然環境と防災等について学習する体験型講座を実施します。また、令和6年度から開始した広告協賛を引き続き実施します。

- ・区内小学校向け講座（6～11月）14回
- ・小学生の学習成果の展示会（2～3月）
- ・令和8年度協賛企業数 6社

(株)富川写真、(株)横浜アリーナ、ウスイホーム(株)、(株)ウチムラ、綱島商店街協同組合、NOSIGNER(株)



【区内小学校向け講座】



【展示会の様子（7年度）】

【港北水と緑の学校事業 講座の実施回数及び参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施回数	18回	20回	20回	14回	12回
小：小学校向け講座	(小18回)	(小18回、	(小18回、	※2	※3
一般：一般向け講座	※1	一般2回)	一般2回)		
延べ参加者数	1,702人	1,301人	1,449人	968人	922人

- ※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3年度一般向け講座は動画による講座に変更しました。
- ※2 みどり環境局が実施する「横浜市環境教育出前講座」を活用することで、本事業では鶴見川での活動に特化した区内小学校向け講座のみを実施しました。
- ※3 天候による延期等により学校とのスケジュールが合わず、実施回数が2回減りました。

4 脱炭素行動推進事業 【(8) 400千円、(7) 3,200千円】

脱炭素社会の実現に向けて、港北区内の企業・団体等と連携した脱炭素イベントの実施など、あらゆる機会を通じて、子どもたちが楽しみながら脱炭素社会を考えるきっかけを身近なところで創出します。

- ・子ども向け脱炭素イベントの実施
- ・区内小学校向けの脱炭素講座の実施



【子ども向け脱炭素イベント】



【区内小学校向け脱炭素講座】

《参考》

[みどり環境局再配当予算]

- ・市民が森に関わるきっかけづくり事業 【(8) 200千円、(7) 150千円】

「新横浜公園ピクニックパーク」イベントへの地産地消・森林保全啓発ブース出展



【PR ブース】



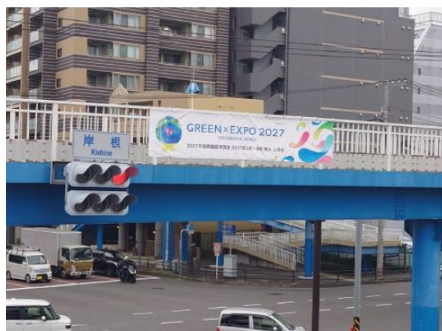
【ワークショップ】

【脱炭素・GREEN×EXPO 推進局再配当予算】

・GREEN×EXPO 推進事業 【(8) 5,000 千円、(7) 5,000 千円】

横浜グリーンエクスポに向けたイベント認知度の向上及び機運醸成、節目を捉えたコンテンツ認知拡大イベント等

【令和7年度の取組】



【区内歩道橋へ横断幕の設置】



【区庁舎縦型案内板への装飾】



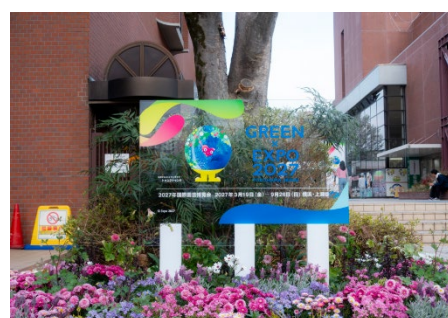
【大倉山観梅会特設フォトスポット】



【大倉山観梅会でのPRブース】



【区庁舎風除室壁面フォトスポットの
リニューアル】



【区庁舎前花壇の整備】

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	増▲減(A-B)
3-(12) こうほく プラ5.3推進事業	1,394千円	941千円	453千円
地域振興課	増減理由	外国人向けの新たな啓発実施による増など	

【事業の概要】

横浜市一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ プラ5.3計画」(以下、同計画という。)に基づき、広報・啓発・支援等を行い、市民・事業者・行政が協働して環境行動の推進に取り組みます。

同計画で重点課題となっているプラスチック対策について積極的に啓発等を行うとともに、外国人が正しい分別を行うことができるよう、効果的な啓発等を重点的に実施します。

また、世界的に問題となっている食品ロス削減に向けた取組、近年新たな問題となっているリチウムイオン電池等の廃棄の対策、子どもたちが安全に清掃活動に参加できる環境整備など、清潔できれいな街づくりに向けた取組を推進します。

【主な内容】

1 環境行動の推進 【(8) 1,102千円、(7) 811千円】

(1) 環境行動普及啓発事業《拡充》

「ヨコハマ プラ5.3計画(横浜市一般廃棄物処理基本計画)」の取組を実施します。

- ・外国人向けの分別啓発チラシの集積場所への掲示(ベトナム語等)
- ・リチウムイオン電池等の出し方に関する啓発チラシの集積場所への掲示
- ・分別ルール周知
- ・地域イベントや大型スーパー店頭での分別啓発
- ・新分別ルールの地域説明会(随時)
- ・ふるさと港北ふれあいまつり(11月)
- ・分別相談ブースの設置(3月)

生ごみの減量、ごみ処理に係るエネルギーや処理費用の削減、SDGsの達成のため、食品ロス削減の取組を実施します。

- ・生ごみ減量化の土壌混合法説明会(5・6・9・10月、各月1回)
- ・フードドライブの受付及び啓発(随時)



【分別啓発(港北区公園愛護会のつどい、イオン新吉田)】

【土壌混合法説明会】

(2) 環境学習事業

- ・区民向け啓発講座(随時)
- ・動画やSNSを活用した啓発(随時)
- ・保育園・小中学校等への出前教室、資源循環局港北事務所等での環境学習(随時)

(3) 環境行動・清潔できれいな街づくり推進者表彰

- ・環境行動の推進及び清潔できれいな街づくりの推進に功労のあった個人又は団体等を表彰します（12月、港北公会堂）。

(4) こうほく3R活動助成金

- ・区内の地区連合町内会に対し、環境行動の推進と街の美化活動の促進のための活動助成金を交付します（9月）。
- ・環境事業推進委員に対し、地域イベントや啓発活動時の物品の配付やサポート等活動を支援します（随時）。

《参考》[資源循環局再配当予算]

- ・ヨコハマ プラ5.3 計画広報啓発事業【(8) 100千円、(7) 100千円】
啓発物品を購入

2 街の美化の推進 【(8) 292 千円、(7) 130 千円】

(1) キャンペーン活動の実施

- ・日吉駅周辺地区の喫煙禁止地区指定（8月）
8月1日からの指定に向けた周知・啓発活動（5月～7月）
- ・ポイ捨て・歩行喫煙防止啓発キャンペーン（日吉駅など）（年1回）
- ・地域清掃活動支援
自治会町内会や学校・企業等の地域清掃（通年）
不法投棄地域清掃（新羽大熊農業専用地区、年1回）
新横浜駅前周辺清掃（月1回）、横浜アリーナ周辺清掃（月1回）
日吉駅周辺一斉清掃（年2回）
ポケモンピカピカ団（6月27日）

※美化推進重点地区（新横浜地区）で、ピカチュウになりきって参加するごみ拾い活動



小学校による地域清掃



周辺企業による地域清掃
（新横浜）



日吉駅周辺一斉清掃

(2) 不法投棄防止対策

ポイ捨て防止看板作製・設置（随時）、不法投棄監視システムの維持管理（通年）

《参考》統合事業費

クリーンタウン横浜事業【(8) 953 千円、(7) 842 千円】

ごみの散乱や不法投棄のない、清潔できれいな街づくりが特に必要と認められた美化推進重点地区での美化活動を推進します。また、活動にあたって必要な物品を購入します。

- ・新横浜駅周辺（美化推進重点地区及び喫煙禁止地区）
港北区美化推進員活動（週3回、通年）
- ・日吉駅周辺（美化推進重点地区）
港北区美化推進員活動（週2回、通年）

《参考》【港北区の家庭ごみ収集量（単位：トン）】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度（※）
燃やすごみ・ 缶・びん・ペット ボトル・プラ スチック資源の 総量	57,580	56,123	54,071	52,729	<u>51,832</u>
燃やすごみ	48,362	47,275	45,549	44,203	<u>42,754</u>
缶・びん・ ペットボトル	4,765	4,542	4,323	4,211	<u>4,188</u>
プラスチック 資源	4,453	4,306	4,199	4,315	<u>4,890</u>

※7年度は速報値

《参考》【本市全体での外国人の人口推移（総数及び上位5か国）（各年3月末時点）】

年度	4年	5年	6年	7年	<u>8年</u>
総数	98,752人	108,392人	117,922人	128,914人	<u>140,467人</u>
中国	38,639人	40,462人	43,145人	45,891人	<u>49,471人</u>
ベトナム	8,934人	10,158人	11,835人	13,728人	<u>15,062人</u>
韓国	12,185人	12,380人	12,467人	12,468人	<u>12,507人</u>
<u>ネパール</u>	<u>4,184人</u>	<u>5,221人</u>	<u>6,836人</u>	<u>8,807人</u>	<u>10,744人</u>
フィリピン	8,053人	8,811人	9,223人	9,648人	<u>9,897人</u>

《参考》【港北区での外国人の人口推移（総数及び上位5か国）（各年3月末時点）】

年度	4年	5年	6年	7年	<u>8年</u>
総数	6,703人	7,611人	8,156人	8,816人	<u>9,900人</u>
中国	1,797人	1,878人	1,995人	2,085人	<u>2,357人</u>
ベトナム	568人	719人	928人	1,121人	<u>1,250人</u>
韓国	1,102人	1,158人	1,157人	1,171人	<u>1,213人</u>
<u>ネパール</u>	<u>334人</u>	<u>365人</u>	<u>443人</u>	<u>536人</u>	<u>658人</u>
フィリピン	722人	781人	786人	796人	<u>805人</u>

《参考》【小型家電等の回収実績】

年度	6年度	<u>7年度</u>
小型家電	423.80kg	<u>2,313.20kg</u>
充電式電池	815.70kg	<u>1,476.35kg</u>
リチウム電池	—	<u>2,913.65kg（※）</u>

※リチウムイオン電池は令和7年12月から回収が始まったため、4か月分のみ

3-(13) 港北オープンガーデン事業

事業名・所管課	8 年度予算 (A)	7 年度予算 (B)	増▲減 (A-B)
3-(13) 港北オープンガーデン事業	1,944千円	0千円	1,944千円
区政推進課	増減理由	事業移管に伴う増	

【事業の概要】

区民が個人のお庭やグループで育てている花壇等を公開し、互いに見学することで港北区の魅力を再発見し、花や緑を通じた区民の交流を促進します。あわせて、横浜グリーンエキスポの開催に向けた区民の参加意欲向上につなげます。

【主な内容】

1 港北オープンガーデン事業 【(8) 1,944千円、(7) 0千円※】

(※R7「港北ガーデンシティ推進事業」の「港北オープンガーデン事業」2,160千円)

第14回港北オープンガーデン(4月・5月 計6日間)の実施及び第15回イベントに向けた企画を行います。

- ・第14回は、横浜グリーンエキスポの連携をより一層強化し、機運醸成と区民参加・共創を促進するため、来場者参加型のフォトコンテストの実施や各会場に横浜グリーンエキスポロゴ入りの花壇用看板を設置しました。
- ・また、例年実施しているルート案内ツアーに新たに新横浜エリアを追加しました。



【エキスポロゴ入りの花壇用看板】

【第14回港北オープンガーデン開催概要】

- ・日時：令和8年4月17日(金)～19日(日)、5月8日(金)～10日(日)
- ・会場数：147会場
- ・特設案内所：日吉駅、りそな銀行綱島支店横、大倉山駅
- ・ルート案内ツアー：日吉、綱島、大倉山、菊名、新横浜の5つのエリアで実施
- ・スタンプラリーの実施
- ・イベント期間にあわせて野菜・花きの直売会の実施

【イベント実施状況】

年度(回数)	開催日数	公開箇所	来場者数※1
4年度(第10回)	6日	122	約29,646人
5年度(第11回)	6日	126	約35,757人
6年度(第12回)	6日	138	約42,973人
7年度(第13回)	6日	144	約42,936人
8年度(第14回)	6日	147	約48,250人

※1 標本抽出方法で計算(カウント可能な会場を基に推計)



【第 14 回 参加会場】



【第 14 回 ルート案内ツアー】



《参考》

[みどり環境局再配当予算]

・各区における地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業【(8) 2,000 千円、(7) 2,000 千円】

次回オープンガーデンのパンフレット及び小学生向けチラシの制作、参加会場交流会等の実施等



【第 14 回パンフレット表紙・小学生向けチラシ表紙】

[脱炭素・GREEN×EXPO 推進局再配当予算]

・GREEN×EXPO 推進事業

横浜グリーンエキスポの開催に向けたイベント認知度の向上及び機運醸成、節目を捉えたコンテンツ認知拡大イベント等

4 - (1) 区民サービス向上・環境改善促進事業

事業名・所管課	8 年度予算 (A)	7 年度予算 (B)	差 ▲引 (A-B)
4 - (1) 区民サービス向上・環境改善促進事業	7,505千円	6,941千円	564千円
総務課	増減理由	待合フロアの環境改善に伴う増	

【事業の概要】

区庁舎に来庁された皆様が快適に過ごせるよう、施設の環境改善や機能強化を行います。

【主な内容】

1 区庁舎等の環境改善・機能強化 【(8) 7,505千円、(7) 6,941千円】

- ・ 2階待合フロアの記載台更新、情報サイネージ増設
- ・ 2階待合フロアの公衆無線LAN (Wi-Fi) の運用
- ・ 窓口受付システムの運用
- ・ 待合フロア等の環境改善



【2階待合フロア】



【窓口受付システム】

【1階待合フロア等】

4－(2) 区民利用施設環境改善事業

事業名・所管課	8 年度予算 (A)	7 年度予算 (B)	増▲減 (A-B)
4－(2) 区民利用施設環境改善事業	3,715千円	3,120千円	595千円
地域振興課	増減理由	対象案件の増	

【事業の概要】

区内の区民利用施設について、利用者が快適に過ごせる環境づくりや、施設の機能強化を行います。

【主な内容】

- 1 区民利用施設の環境改善・機能強化** 【(8) 2,685千円、(7) 2,220千円】
区民利用施設の環境改善に伴う消耗品、備品の購入や、委託等を実施します。
- 2 子どもの遊び場等の樹木保全** 【(8) 730千円、(7) 630千円】
子どもの遊び場等の樹木について、定期的な剪定や伐採を実施します。
- 3 子どもの遊び場安全基準不適合遊具の撤去等** 【(8) 300千円、(7) 270千円】
日本公園施設業協会で定める安全基準を満たさない遊具について、撤去や修繕等を進めます。

《参考》区民利用施設設置数一覧

地区センター	6 館
条例型コミュニティハウス	4 館
学校施設活用型コミュニティハウス	3 館
公会堂	1 館
スポーツ会館	1 館
スポーツセンター	1 館
老人福祉センター	1 館
こどもログハウス	1 館
国際交流ラウンジ	1 館
区民文化センター	1 館
子供の遊び場	13か所

《参考》令和8年度指定管理者選定施設

地区センター	日吉地区センター、菊名地区センター、新田地区センター、綱島地区センター、篠原地区センター
条例型コミュニティハウス	菊名コミュニティハウス
スポーツ会館	小机スポーツ会館
スポーツセンター	港北スポーツセンター
老人福祉センター	菊名寿楽荘
こどもログハウス	綱島公園こどもログハウス

4－(3) 戸籍課案内サービス向上事業

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	増▲減(A-B)
4－(3) 戸籍課案内サービス 向上事業	3,162千円	3,092千円	70千円
戸籍課	増減理由		

【事業の概要】

来庁者の待ち時間短縮や待合フロアの混雑緩和に取り組み、市民サービスの向上を図ります。
また、待ち時間を活用し、区政情報や横浜グリーンエクスポ関連情報等の発信を行います。

【主な内容】

1 窓口混雑対策事業 【(8) 1,962千円、(7) 2,092千円】

(1) 戸籍の届出が集中しやすい日(特異日)対策業務

- ・戸籍の届出が集中しやすい日(吉日、祝日、語呂合わせのよい日等)の混雑に対応するため、呼び出しモニターの増設等を行います。
- ・可動式のデジタルサイネージを導入し、繁閑に応じ設置場所を検討及び行政情報、引っ越し関連情報(ごみの分別及び児童手当のオンライン申請等)及び横浜グリーンエクスポ関連情報を発信します(通年 待合フロア)。

(2) 繁忙期の電話対応委託業務

電話対応専門のオペレーターを配置することによる電話対応サービス向上及び職員を来庁者の窓口業務に充てることで、来庁者の利便性向上を図ります。

(令和8年4月から令和9年3月まで 配置人数2人)

《参考》

オペレーター対応件数

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
電話受付件数(件)	16,029	15,899	15,336	11,575	22,318
オペレーター配置実日数(日)	252	251	206	177	240
オペレーター配置延べ人数(人)	309	288	276	240	403

2 繁忙期向け広報事業 【(8) 1,200千円、(7) 1,000千円】《拡充》

春の引越しシーズンに伴う窓口繁忙期にあわせ、窓口の分散利用誘導、web発券利用促進、転出届出及び証明発行におけるマイナンバーカードの利用促進に向けた広報を行います。

- ・インターネット上に表示される広告を実施します(2～3月)。

《参考》

最繁忙期における1日あたり発券数

(令和8年3月25日から3月27日、3月30日及び3月31日まで)

- ・平均値 Web発券数 141件 WEB発券の割合 26.5%
- ・最高値 (A)Web発券 250件 (B)全体 647件 WEB発券の割合(A/B) 38.6%

※最高値は令和8年3月30日の件数

4 区民サービス向上に向けた取組

《参考》

【住民異動受付等件数】 令和8年3月25日から3月27日、3月30日及び3月31日まで

	25日	26日	27日	30日	31日	平均
受付件数 (件)	364	400	451	647	599	492
web発券受付件数 (件)	65	68	97	250	225	141
最大待ち時間 (分) web発券なし	59	55	48	314	277	151
最大待ち時間 (分) web発券あり	35	32	25	303	261	131
平均待ち時間(分) web発券なし	23	26	29	216	219	103
平均待ち時間 (分) web発券あり	6	3	15	106	89	44
最大待ち人数 (人)	32	38	89	244	206	122
web発券割合 (%)	17.9	17.0	21.5	38.6	37.6	26.5
前年度web発券割合 (%)	19.6	16.6	15.7	20.3	20.0	18.4
前年度比 (%)	-1.7	+0.4	+5.8	+18.3	+17.6	+8.1

《参考》

web発券関連の周知



【車止めポールに貼付したweb発券周知シール】



【民間事業者敷地に掲出したweb発券周知ポスター】



【区内各所に配架したweb発券チラシ】

《参考》

【港北区の人口、世帯数、平均世帯人員（住民基本台帳人口）】

	3年3月末	4年3月末	5年3月末	6年3月末	7年3月末
人口 (人) (A)	351,554	352,694	355,442	356,788	368,628
世帯数 (世帯) (B)	175,307	176,636	179,337	181,250	187,561
平均世帯人員 (人) (A/B)	2.01	2.00	1.98	1.97	1.97

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	差▲引(A-B)
4-(4) 港北区PR情報発信事業	1,473千円	1,523千円	▲50千円
区政推進課	増減理由		

【事業の概要】

区民が即時に有用な情報サービスを得られるよう、区ウェブサイトやSNS等を運営します。
また、区のキャラクターを有効に活用し、SNSのフォロワー獲得に繋がる啓発物品等の製作を行い、区のPRを行います。

【主な内容】

1 情報発信事業 【(8) 1,473千円、(7) 1,523千円】

スマートフォン等の普及により区民の区政情報の入手手段が多様化していることを踏まえ、タイムリーかつターゲットを意識した有効な情報発信(※)を行います。

また、港北区のキャラクターであるミズキー等を活用した啓発物品を製作し、区役所の各種事業で配布します。

※Xの発信内容：広報よこはま港北区版の特集・トピックス記事(毎月1日～中旬)

ミズキーの港北区紹介(月2～3回)

各課が開催するイベント等(随時)

【港北区ウェブサイトアクセス件数・Xフォロワー数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
アクセス件数	約300万人	約250万人	約250万人	約340万人	約250万人
フォロワー数	約10,200人	約10,700人	約10,900人	約11,500人	約12,100人

【港北区ミズキー着ぐるみ利用件数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
利用件数	7件	21件	30件	32件	34件



【港北区ミズキークリアファイル】



【港北区ミズキーシール】



【港北区ミズキー着ぐるみ】

4－(5)「仕事力向上」職員育成事業

事業名・所管課	8年度予算(A)	7年度予算(B)	差▲引(A-B)
4－(5) 「仕事力向上」職員育成事業	620千円	620千円	0千円
総務課	増減理由		

【事業の概要】

適正な業務執行や業務スキルの向上を図るため、CS・ES向上研修やスキル向上研修を実施します。加えて、人権感覚を育み、正しい理解及び認識を身につけるため、人権啓発講演会を実施します。

【主な内容】

1 職員向け研修 【(8)264千円、(7)320千円】

(1) 新採用・転入職員・会計年度任用職員向けCS・ES向上研修

CS・ESの向上を図るため、新採用・転入職員・会計年度任用職員を対象として実施しました(4月)。

(2) スキル向上研修

業務スキルの向上を図るため、職員、会計年度任用職員を対象として実施します(9月～10月)。

2 人権啓発講演会等 【(8)356千円、(7)300千円】

人権感覚を育み、人権に対する正しい理解及び認識を身につけるため、市民・職員向けの人権啓発講演会や、職員向けの人権啓発研修を実施します。

【人権啓発講演会の実施状況】

年度	テーマ	講師	参加者
3年度	横浜F・マリノスと連携して、SNS等の正しい利用方法をテーマに動画を撮影し、区ウェブサイトに掲載するとともに、区及びマリノスのTwitterに投稿		
4年度	「いじめって何ですか？」 ～いじめに対する大人の認識を考える～	小森 美登里(NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事)	約250人
5年度	多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり～20人に1人はいるかもしれないLGBTQ～	星野 慎二(定非営利活動法人SHIP理事長)	約100人
6年度	僕の宝物(障害を受容できるきっかけとなった出来事や東京2020パラリンピックについて)	嵯峨根 望(東京2020パラリンピック日本代表)	約120人
7年度	男らしさ、女らしさより 自分らしさが社会を変える～LGBT・男性・女性とは～	ブルボンヌ(女装パフォーマー・ライター)	約320人

【7年度人権啓発講演会】



4 区民サービス向上に向けた取組

事業名・所管課	8 年度予算 (A)	7 年度予算 (B)	差 ▲引 (A-B)
《参考》統合事業費 広報よこはま区版発行事業	14,734千円	14,665千円	69千円
区政推進課	増減理由		

【事業の概要】

区民の生活に必要な行政情報等を提供し周知するため、広報よこはま港北区版を発行します。

【主な内容】

1 広報よこはま区版作製 【(8) 14,734千円、(7) 14,665千円】

広報紙は、原則として自治会町内会を通じて各戸に配布するほか、区ウェブサイトへの掲載や X (旧ツイッター) 等により情報を発信します。

(1) 発行

毎月 1 日、年12回

176万部 (14.7万部/月) 発行

(2) 仕様

タブロイド判、4 色刷り、8 ページ



【広報よこはま区版 4 月号 特集ページ】

(3) 紙面構成

- ・特集、トピックス記事
区の施策で特に力を入れて取り組んでいる事業やイベント等を紹介する紙面
- ・お知らせ記事
区役所や区内施設等が実施する催事等を紹介する紙面

【参考】

港北福祉保健センターからのお知らせ
発行：年 1 回 (8 年 4 月号に挟み込み)
仕様：4 色刷り、4 ページ
内容：検診日程等

【広報よこはま区版発行部数】

年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
年間部数	172万部	172万部	174万部	175万部	<u>176万部</u>
月平均部数	14.3万部	14.3万部	14.5万部	14.6万部	<u>14.7万部</u>

事業名・所管課	8 年度予算 (A)	7 年度予算 (B)	増▲減 (A-B)
《参考》統合事業費 広聴相談事業	2,011千円	2,016千円	▲5千円
区政推進課	増減理由		

【事業の概要】

サービス改善等に関する区民の意見・提案等の把握や、来庁者への的確な案内及び行政情報の提供のほか、区民が日常生活で直面する問題に対応するための専門相談を実施します。

【主な内容】

1 特別相談事業 【(8) 2,011千円、(7) 2,016千円】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行います。

【特別相談実施概要】

相談名	内 容	相談員	実施日時
法律相談	離婚、相続、金銭、近隣問題など 法律問題全般について	弁護士	水曜日及び (8月を除く) 第1・3木曜日 13:00～16:00
司法書士 相談	債務整理(140万円以下)、 不動産登記、相続、成年後見など	認定司法書士	第1火曜日 13:00～16:00
公証相談	遺言、任意後見、賃貸借契約など の公正証書について	公証人	第2木曜日 13:00～15:00
行政相談	国の仕事・制度についての苦情・ 要望など	行政相談委員	第2火曜日 13:00～15:00

※「交通事故相談」は、令和8年度から市役所市民相談室での相談のみとなります。

【特別相談・広聴・窓口案内件数】(単位：件)

年度		4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度 (4月末)
特 別 相 談	法律相談	448	460	456	465	40
	司法書士相談	70	103	68	67	6
	公証相談	14	20	15	26	0
	交通事故相談	4	2	2	2	
	行政相談	5	13	13	8	0
広聴事業		800	729	721	908	98
窓口案内		57,908	46,757	52,517	58,189	5,054

事業名・所管課	8 年度予算 (A)	7 年度予算 (B)	増▲減 (A-B)
《参考》統合事業費 青少年活動支援事業	3,490千円	3,083千円	407千円
地域振興課・こども家庭支援課	増減理由	2 年に 1 度の青少年指導員改選の年に伴う事務費の増	

【事業の概要】

青少年の健全育成のため、地域における青少年指導員の活動を支援し、青少年が健やかに育つ環境をつくるため、社会環境健全化活動を行います。

【主な内容】

1 青少年指導員事業 【(8) 2,680千円、(7) 2,273千円】

- ・自然体験教室(6月14日)
- ・全市一斉統一行動パトロール活動(7月)
- ・社会環境実態調査(7月～8月)
- ・全市統一行動キャンペーン活動(11月)
- ・広報誌の発行(9月・3月)



【自然体験教室】



【全市一斉統一行動パトロール活動】

【自然体験教室への参加人数】

年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
実人数		66人	24人	37人	6/14実施予定
実施場所	天候不良により中止	ソレイユの丘	新横浜公園 鶴見川流域センター	三ツ沢公園青少年野外活動センター	三ツ沢公園青少年野外活動センター
実施内容		クラフト体験 (万華鏡づくり) フォトラリー	ウォークラリー	やきそばづくり ネイチャービンゴ	カレー作り ネイチャービンゴ

2 学校・家庭・地域連携事業 【(8) 810千円、(7) 810千円】

中学校区ごとに設けられている学校・家庭・地域連携事業実行委員会(9団体)へ補助金を交付します。学校・家庭・地域が一体となり、青少年の問題行動等の防止及び健全育成を図ります。

(2) 統合事務費、区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：百万円)

区 分	8 年度 予算額	7 年度 予算額	増▲減	主な管理施設〔主な増減理由〕
統合事務費	28	29	▲ 1	区役所業務の事務経費 〔実績等による減〕
区庁舎等管理費	152	151	1	港北区総合庁舎、土木事務所、 行政サービスコーナー（2か所） 〔実績等による増〕
区版市民活動支援センター 管理費	1	1	0	港北区区民活動支援センター
地区センター等管理費	262	253	9	地区センター（6か所）、 スポーツ会館 〔人件費の増〕
青少年施設管理費	10	10	0	こどもログハウス
公会堂管理費	29	28	1	港北公会堂 〔人件費の増〕
区民文化センター管理費	150	144	6	港北区民文化センター 〔人件費の増〕
老人福祉センター等管理費	48	46	2	老人福祉センター 〔人件費の増〕
コミュニティハウス管理費	115	111	4	コミュニティハウス（4か所）、 学校施設活用型コミュニティハウス （3か所） 〔人件費の増〕
区スポーツセンター管理費	31	28	3	港北スポーツセンター 〔人件費の増〕
広場・遊び場等管理費	16	16	0	国際交流ラウンジ、 広場・遊び場等（13か所）
区庁舎・区民利用施設修繕費	4	4	0	小破修繕等
合 計	846	821	25	

注）各項目で単位未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

3 再配当予算

(単位：百万円)

分 類	8 年 度 予 算	7 年 度 予 算	増▲減	説 明
区再配当予算	8,305	8,140	165	局からの再配当を受け、区が執行する予算
①区役所総務費	608	589	18	
賦課徴収費	408	323	85	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費など
広報費	25	27	▲ 2	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など
統計調査費	1	3	▲ 2	各種統計調査を行うための経費
その他	173	236	▲ 63	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成など
②身近なまちづくり	1,317	1,391	▲ 74	
道路修繕費等	1,038	1,107	▲ 68	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修など
河川維持管理費等	31	32	▲ 1	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理など
公園管理費等	248	252	▲ 4	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良など
③子育て支援	2,060	1,886	174	
市立保育所運営	144	143	1	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費
放課後児童健全育成	1,663	1,498	165	放課後キッズクラブ運営委員会への補助金等
その他	253	245	8	地域子育て支援拠点、小児医療費助成等
④生活保護等	3,747	3,745	2	
生活保護	3,719	3,720	▲ 1	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費など
生活困窮者自立支援	29	26	3	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費など
⑤福祉・保健	573	528	45	
障害者福祉	224	219	5	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成など
高齢者福祉	29	29	0	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業（介護保険対象外事業）など
その他	320	280	40	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給など

※ 人件費を抜いた金額です。

※ 現時点では配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等に按分したものも含まれています。

※ 各項目で単位未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

令和8年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	○：対応 △：一部対応
港北	1	鶴見川周辺(新羽地区・大倉山地区)のまちづくり(橋梁の整備・太尾堤緑道の延伸)	1 新設橋梁の設計測量費の予算計上 2 将来的な緑道延伸整備に向けた条件整理	道路局	○
				みどり環境局	△
港北	2	都市計画道路東京丸子横浜線(綱島街道)における着手済区間の着実な推進と未着手区間の早期事業化	1 着手済区間(綱島地区)の着実な推進 2 未着手区間における早期事業化	道路局	△
港北	3	関係区局の連携による迅速かつ効果的な空家等対策の推進	1 空家所有者等への初期対応等業務の一元委託化 2 空家化の予防、空家の流通・活用対策	建築局	△
港北	4	web発券やリスティング広告の活用	DX技術を活用した混雑緩和対策及び効果的な情報発信	市民局	△
港北	5	外国籍の方が関わる戸籍届の受付等におけるDX技術の活用	涉外戸籍等の受付や審査のポイントをガイドする「戸籍窓口支援システム」の導入	市民局	△
港北	6	災害時における要電源医療機器の電源確保のための非常用電源装置等の整備	区が調整を行った福祉施設等への要電源医療機器(人工呼吸器・自動腹膜透析(APD)装置)利用者用の非常用電源装置等の配備	健康福祉局	—
港北	7	寄り添い型生活支援事業における生活支援専門員派遣事業	寄り添い型生活支援事業における生活支援専門員派遣の実施	こども青少年局	△

